

車体

NEWS

AUTUMN 2023 秋

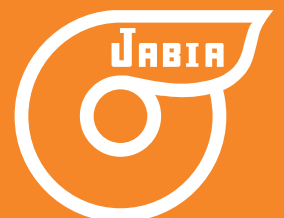
JAPAN AUTO-BODY INDUSTRIES ASSOCIATION INC.



セフテーローダ
(詳細はP.40を参照)

CONTENTS

巻頭言	2	そこが知りたい 第58回	
NEWS特集		「GXとは?」	25
講演会を開催		働くクルマたち 第42回	
「最近の自動車行政について」	3	「医療防疫車」	27
カーボンニュートラル対応 第9回	5	COFFEE BREAK	29
NEWS FLASH		いどばた会議 第15回	
本部だより	7	「私のSDGs Part6」	31
部会だより	8	我が社の元気人	33
支部だより	10	DATA FLASH	
官公庁だより	12	2023年1月~6月 会員生産状況概要	34
月度活動状況	17	お知らせ	40
会員情報	20	編集後記	40
NET WORK vol.112			
光伸(株)	21		
VOICE STAGE 100			
関西ペイント(株)	23		
スウェーデンスチール(株)	24		



UNIC

Universal Crane, It's UNIC

大型トラック搭載型クレーン

G-FORCE

登場!

New



群を抜く強力パワーと、 こだわりの使いやすさ

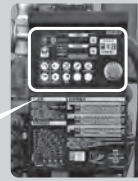
中型トラックGVW11~20トン(5~8トン車)クラス
大型トラックGVW20~25トン(8~10トン車)クラス

URG504AUQA2

GRADE UP 01

コントロールパネルを一新。音声メッセージも大幅追加。

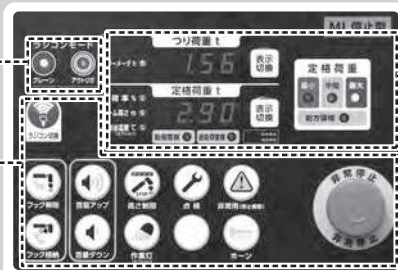
各種表示とスイッチをコントロールパネルを一新。専用スイッチを設置するとともに、文字とアイコンでイメージしやすくなりました。また、音声メッセージを大幅に追加し、クレーン状態をより把握しやすくなりました。



集中コントロールパネル
(クレーン本体)

各種表示

つり荷重/定格荷重/
アワーメータ/負荷率/
ブーム高さ/
作動油温度[オプション]/
転倒警報/過負荷警報/
定格荷重(最小・中間・最大)/
前方領域



新型コントロールパネル(クレーン本体両側)

モードランプ

ラジコンモード
アウトリガラジコンモード

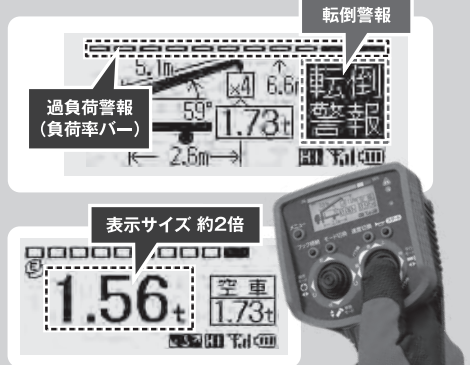
各種スイッチ

ラジコン・手動切換/
フック格納/フック解除/
音量アップ/音量ダウン/
高さ制限/作業灯[オプション]/
点検/非常用(停止解除)/
ホーン/非常停止

GRADE UP 02

液晶表示も より分かりやすく。

クレーンの状態表示と荷重表示の切り換えが可能です。



転倒警報

過負荷警報
(負荷率バー)

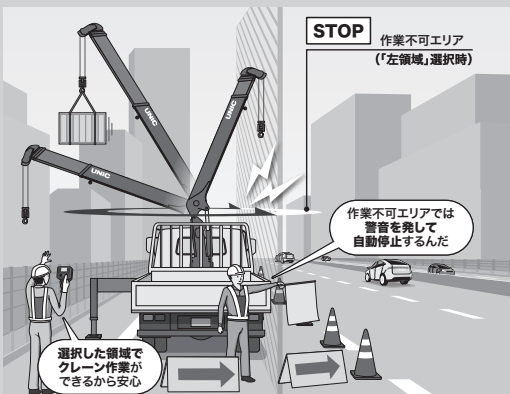
表示サイズ 約2倍

1.56t 空車 1.73t

GRADE UP 03

安全性を高める新オプションを追加。

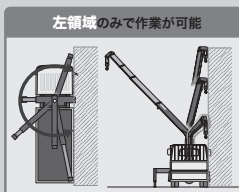
作業現場の横を通る歩行者や通行車両などへの接触事故を減らし、安心してクレーン作業を行うことができます。



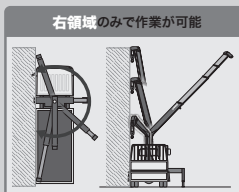
STOP 作業不可エリア
(「左領域」選択時)

作業不可エリアでは
警音を発して
自動停止するんだ

選択した領域で
クレーン作業が
できるから安心



左領域のみで作業が可能



右領域のみで作業が可能

G-FORCEの3つのポイント

Point 1 JCAS(日本クレーン協会規格) 抛準[ML 停止型]

作業現場の横を通る歩行者や通行車両などへの接触事故を減らし、安心してクレーン作業を行うことができます。



Point 2 安心の3年保証 [(高機能)ML 停止型]

安全作業への願いを込め、「安心」の3年保証を付けて皆様のもとへお届けします。



※条件有

Point 3 NETIS 登録機種 [全機種]

工事成績評定での加点や総合評価方式の入札時には評価・加点の対象となります。



古河ユニック株式会社

本社: 東京都千代田区大手町2-6-4(常盤橋タワー)
電話: 03-6636-9524



古河ユニック

検索

巻頭言

副会長就任にあたって

副会長 吉村 東彦
日産車体(株)・取締役社長



本年度より、車体工業会の副会長、並びに環境委員会と広報委員会の委員長を拝命いたしました。会員企業の皆さまには、日頃の活動へのご理解とご協力をいただき、この場をお借りしてお礼を申し上げます。

昨年度の自動車産業は、新型コロナウイルス感染症の影響や不安定な国際情勢による燃料・原材料価格の高騰、サプライチェーンの混乱などで、生産活動の停滞が継続しました。

今年度に入り新型コロナウイルス感染も収束しつつある中で、国内経済は復調を見せ、私たち車体業界も一定の代替需要は見込まれますが、国際情勢の変化も含め、景気動向は不透明な状況となっています。

重要な経営課題としては企業体質の改善と強化、高度化・多様化するお客さま要望及び先進技術(CASE、MaaS、IoT、AI等)への対応、中小企業におけるCSR*対応、リスクマネジメント体制整備、SDGsへの取組み等があります。

※Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任

これら取り巻く環境の変化を的確にとらえ、業界全体の成長をより確かなものにするために、皆さまとともに当会の活動を盛り上げてまいりたいと思います。

さて、当会では、以下の5項目を「主要項目」とし、本部委員会、部会、支部活動を行っています。

1. カーボンニュートラル対応
2. 安全対応活動の推進
3. 環境対応自主取組みの推進
4. 中小企業支援活動の推進
5. 活性化活動の継続推進

カーボンニュートラル対応については、専門委員会発足当時から関わり、会員の皆さまの理解促進、個社活動に向けた情報共有等の活動を進めてまいりました。

今年度からは専門委員会の副委員長も仰せつかり、環境委員会と連携しながら、2030年度CO2排出量目標達成に

向けた対策検討と会員活動状況の確認、会員活動事例の収集、展開といった従来活動をより実践的な活動へと本格的にシフトしてまいります。

車体業界でのカーボンニュートラルの取組みは一筋縄ではいきません。車両の電動化でも、クレーン車やミキサー車、冷凍車などの「働くクルマ」は、種車だけでなく、架装した機器の動力も電動化の対象となります。個社で取り組むことが難しい課題や困り事は、専門委員会と環境委員会が連携して情報の共有と解決のための支援活動を行います。アンケート調査などもご活用いただき、ぜひご意見をいただければと思います。

環境負荷低減については、環境委員会を通じて、ほかにもさまざまな取組みを進めています。

架装物リサイクルのための易解体性の追求や、循環素材の調査と推進、「環境・新環境基準適合ラベル」の取得と普及促進活動、重金属フリー化に向けたフォローアップと支援活動、生産に伴う環境対応技術支援なども行っています。

また、広報委員会では、車体工業会ホームページの『環境保全に対する取組み』で「商用車架装物リサイクル」と「生産工程での環境負荷低減」の二つの活動を紹介しています。今後も各部会からの身近な事例をタイムリーに紹介し、環境保全への意識啓発や当会環境活動のPRに繋げてまいります。こちらにも皆さまの好事例をどんどんお寄せいただきたいと思います。

環境への取組みは自動車産業の使命であり、私たち車体業界が取り組んでいかなければならない最重要課題です。今年度211社の会員企業の皆さま全員で、互いの独自性をリスペクトし合い、関係団体とも連携を取りながら、積極的に活動を進めてまいりたいと思います。

「働くクルマ」を通じ、皆さまの生活の向上に、そして環境・社会に貢献していくために、今後も引き続きご支援、ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

講演会を開催

最近の自動車技術行政について

2023年7月20日、日本自動車会館「くるまプラザ」において国土交通省自動車局審査・リコール課長・小磯和子氏を招いて、「最近の自動車技術行政について」のテーマで講演会を開催し、大変多くの会員が参加した。



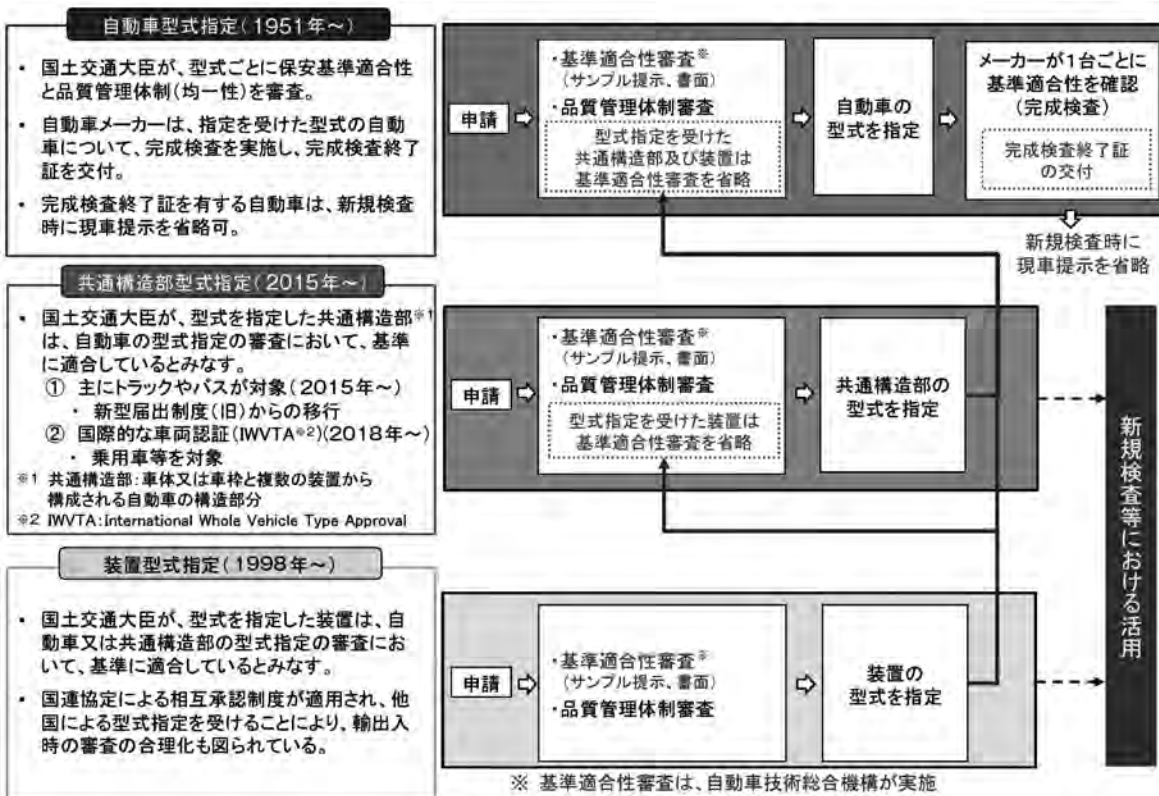
国土交通省自動車局
審査・リコール課長
小磯 和子 氏

車両安全対策

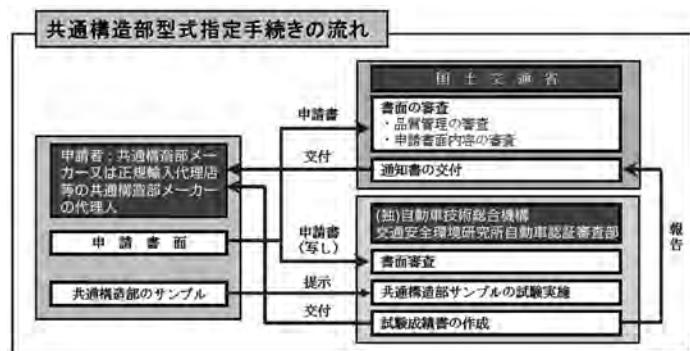
技術開発から新車対策、使用過程車対策まで一貫した車両安全対策を推進している。

車両安全対策の枠組み(車両の開発、製造から使用時まで)						
技術開発	新車対策			使用過程車の対策		
先進安全自動車 (ASV)	安全基準	型式認証	自動車アシスト	点検・整備	検査	リコール
先進安全技術の開発・普及促進	安全基準の拡充・適化 国際基準調和の推進	製造時の適合性確認	自動車の安全性評価 ユーザーへの情報提供	使用時の安全性能の確保	使用過程車の基準適合性の確認	設計・製造に起因する欠陥車両の市場回収

■自動車の認証制度(型式指定制度)



■共通構造部型式指定制度



- 共通構造部(多仕様自動車)型式指定制度は、仕様が多様な大型トラックやバスを生産する場合に主に利用される制度
- この制度は、製造の過程にある自動車(多仕様自動車)について、共通する構造装置、性能を荷台等を架装していないキャブ付きシャシ等のサンプル車で審査を行い、共通構造部製作者が生産する多仕様自動車の出荷検査を行うことにより品質や性能の均一性を図るとともに、車両1台ごとに行う新規検査において活用し、検査を合理化するもの

環境対策

■自動車の電動化に関する政府目標

○乗用車

2035年までに、新車販売で電動車*100%

※「電動車」…電気自動車、燃料電池自動車、プラグインハイブリッド自動車、ハイブリッド自動車

○大型トラック・バス(8t超)

2020年代に電動車5,000台の先行導入

2030年までに2040年の電動車の普及目標を設定

○小型トラック・バス(8t以下)

2030年までに新車販売で電動車20~30%

2040年までに新車販売で電動車と脱炭素燃料対応車合わせて100%

輸送事業者の非化石エネルギー自動車の導入目標の目安

車種		2030年度の保有台数に占める割合	(参考)現状
トラック	8トン以下	5%(約26,000台)	636台*1
	8トン超	将来的に検討	
バス		5%(約5,400台)	183台*1
タクシー		8%(約18,000台)	671台*2

*1 2022年3月末現在(一般財団法人 自動車検査登録情報協会「自検協統計 自動車保有台数」より)

*2 2022年3月末現在(一般社団法人 全国ハイヤー・タクシー連合会「低公害車の導入状況」より)

■次世代自動車の普及促進策

○自動車単体対策として、燃費・排出ガス性能の向上、次世代自動車の普及促進を図る

○省エネ法に基づき燃費基準を策定し、自動車燃費の向上を図る

○税制優遇措置・補助制度等や基準の国際調和により、次世代自動車の普及を促進する

■環境基準の策定・国際調和に関する主な取組み

○自動車の燃費・排出ガス基準を策定し、自動車の環境性能の向上を図るとともに、国際調和により、次世代自動車の普及を促進

○近年では、自動車のライフサイクル全体のCO₂評価手法構築に関する国際基準等の議論を日本が主導するなど、カーボンニュートラルの実現に取り組んでいる

■次世代商用車の導入支援

○我が国の二酸化炭素排出量の約2割を占める運輸部門の脱炭素化が急務

○商用車について、電動化に向けた国内投資促進のため、**300億円以上(大幅増額)**※を確保(2023年度)

※カーボンニュートラル社会の実現[国交・環境・経産省連携事業]、地域公共交通のLi・Deザイン(再構築)[国交省事業]、事業用自動車の電動化[国交省事業]

■災害時の電動車の活用

○台風、地震などの災害に伴い、停電が発生した場合には、EV、PHV等の電動車は、「移動式電源」として、被災地に電力を供給することが可能

○今後の電動化の進展と併せて、その活用が期待されている

■災害時における電動車活用促進事業

○災害時の電動車の派遣を推進する自動車メーカー・ディーラーと自治体との協定締結を推進

○派遣実証訓練を通じ、電動車の派遣・給電時に生じる課題等を整理

○今後の災害時の円滑な運用と、他自治体への普及啓発などに繋げる

安全対策

■先進安全自動車(ASV)推進

○ASVは、先進技術を利用してドライバーの安全運転を支援するシステムを搭載した自動車

※ASV: Advanced Safety Vehicle

○ASV技術の開発・実用化・普及を促進するため、産官学の連携による「ASV推進検討会」を設置

○1991年度から約30年にわたり、プロジェクトを推進し、2021年度より第7期がスタート

自動運転技術

■自動運転車の開発・実用化に向けた取組み状況

○自家用車についてはレベル3を実現し、移動サービスについてはレベル4を実現するなど着実に技術が進展

○今後は、レベル4の普及拡大が目標

○自動運転の開発・実用化を促進、自動車産業の国際競争力を強化するため、①技術基準作り、②実証事業で世界をリードしていく

■自動運転の実現に向けた課題

○自動運転の実現に向けて、①安全性の向上、②地域の理解、③事業性の確保、が課題

○これらの課題を解決するため、地方公共団体が行う継続的な自動運転の実証事業について、その費用を支援

■自動運転に関する国際基準策定の取組み

○自動運転の早期実現に向けて、国連自動車基準調和世界フォーラム(WP29)において、共同議長又は副議長等として自動運転に関する国際基準に係る議論を主導

○現在、レベル4以上の自動運転も含めた国際的なガイドラインを、2024年6月の合意に向けて関係国と議論中

カーボンニュートラル対応

第9回

カーボンニュートラル(以下CN)については、2020年10月、政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、CNを目指すことを宣言したことを受け、当会では、CN専門委員会を立ち上げ、2021年8月27日より活動を開始した。会員の皆様からいただいたアンケートの結果に基づき、CNを正しく理解していただくための勉強会の開催、パンフレットの送付(その1~4)、そして車体NEWSでは2021秋号から取組み状況を紹介している。

第9回目は、継続して実施している勉強会の実施状況、2022年度CO2排出量調査、CN専用ホームページについて紹介する。

CN勉強会

1. 入門編

1) 動画配信(社内教育等に活用可能)

CN専用HP → CNの基礎知識 → 勉強会・講演会

<https://www.jabia.or.jp/cn/about/#about04> に4月末から公開中(会員限定)

社内教育等にご活用ください。



- ① 車工会のCN勉強動画【入門編】NO.1 基礎知識
- ② 車工会のCN勉強動画【入門編】NO.2 CNに取り組む必要性
- ③ 車工会のCN勉強動画【入門編】NO.3 CN取組みの進め方



2) 今後

- ・外部セミナーの開催 CN取組みの参考となるような、具体的事例を紹介するセミナーを検討

2. 実践編

具体的な取組みの進め方や事例の紹介を織込んだ「実践編」を開催中

- < 内容 > 1.CNとは?(振り返り) 1)世界の動向 2)働くクルマを取り巻く環境
2.CN推進方策(実践編) 1)取組みの進め方 2)具体的な取組み事例

	開催日	開催方法	講師	参加社数
第6回	2023年 6月27日(火)	オンライン(Zoom)	トヨタ車体(株) プラント環境生技部 カーボンニュートラル企画室 杉山室長	5社(21名)
第7回	2023年 8月28日(月)	オンライン(Zoom)	トヨタ自動車東日本(株) PE・環境部 松井部長	6社(15名)

< 結果 >

- ・参加者アンケート結果、勉強会の内容は、自社の取組みに活かせるとの回答等全体を通じてご満足いただけている

< 今後の予定 >

今年度以下の通り継続開催していきますので、奮ってご参加ください。

	開催日	開催方法	講師
第8回	2023年 9月26日(火) 10:00~11:30	オンライン(Zoom)	日産車体(株)安全環境部 磯田部長
第9回	2023年10月23日(月) 10:00~11:30	オンライン(Zoom)	トヨタ車体(株) プラント環境生技部 カーボンニュートラル企画室 杉山室長
第10回	2023年11月27日(月) 14:50~15:30	オンライン(Zoom)	トヨタ自動車東日本(株)PE・環境部 松井部長
第11回	2023年12月22日(金) 10:00~11:30	オンライン(Zoom)	日産車体(株)安全環境部 磯田部長

CN専用ホームページ

URL : <https://www.jabia.or.jp/cn/>



迅速に、そして分かり易くCNに向けた会員の皆様の活動状況や官公庁、他団体の有益な情報を共有し、諸活動にお役立ていただくために、「CN専用ホームページ」を開設し、2022年12月22日にリリースした。

<新着情報>

官公庁情報

<https://www.jabia.or.jp/cn/public/>



①補助金・助成金・税制優遇情報

- ・ 中小企業のCN支援策
- ・ 電気の見える化とDR運用で電気代削減を支援する補助金のご案内

②基礎知識

- ・ CNを実現する「脱炭素経営」を推進するには？

車工会会員の皆様へ

会員にとって有益な情報を継続して発信して参りますので、掲載要望等お気づきの点がございましたら、お気軽に事務局までお問い合わせください。

2022年度CO2排出量調査へのご協力依頼

車体工業会では地球温暖化対策につき、2008年度から日本自動車工業会と一体となった取組みを推進し、経団連の「カーボンニュートラル(CN)行動計画」に基づくCO2排出量調査を実施しております。

2050年のCN達成に向け、脱炭素化の流れが本格化する中で、当会も2030年に向けたCO2排出量の目標値を掲げ、会員の皆様の排出量、省エネ量等の実態把握を行い、エネルギー削減に繋がる活動を進めて参ります。

以下項目の2022年度実績について、ご提出をお願いしておりますので、回答へのご協力をお願いいたします。

<調査項目>

- ① 2022年度実績 CO2調査
- ② 2022年度実績 省エネ調査
- ③ 省エネ・CO2削減 改善事例

■架装物の安全点検制度

啓発用チラシ・ポスターの作成と会員配布

中央技術委員会傘下の点検整備推進分科会は、2017年に運用を開始した「架装物の安全点検制度」の点検実施率向上を図るために、点検啓発用チラシ・ポスターを作成し、9月中旬を目処に会員の皆様に配布及び当会ホームページに掲載しますのでご活用をお願いいたします。

今回のチラシ・ポスターの訴求ポイントは、世の中のトレンドであるSDGs(持続可能な開発目標)と点検の重要性・メリットを結び付けたものになっています。

◇ポスター(全会員対象)

会員の皆様の事業所等に掲示していただき、従業員に加え、事業所を訪れるお客様等に点検の重要性をPR願います。

◇チラシ(制度対象製品の部会対象)

営業所等でお客様への説明用、また車載用として活用していただき、点検の重要性をPR願います。

架装物の安全点検制度
架装物の定期点検で「SDGs」に貢献

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

環境にやさしい未来をつくる働く車
未来の子ども達に美しい地球を
のこすため「豊かな環境保全」には
定期点検整備が必要です。
定期点検整備を実施した事を証明する
「架装物年次点検(済)」ステッカーです。

安全・安心・信頼の証 ステッカー!!

※ 新車時 「点検制度適用車」ステッカー

※ 点検時 「架装物年次点検(済)」ステッカー

2023年(黄色) 2024年(赤色) 2025年(黄緑色)

一般 日本自動車車体工業会 中央技術委員会 点検整備推進分科会
社団法人 Japan Auto-Body Industries Association Inc. <http://www.jabia.or.jp/>

P.39参照

架装物安全点検制度

安全・安心・信頼は定期点検から!!

点検制度対象製品(架装物)一覧

車種/部位	製品名	車種/部位	製品名
ダンプ	大型リヤダンプ	貨車	普通車
ダンプ	中型リヤダンプ	貨車	冷凍車
ダンプ	小型リヤダンプ	貨車	冷蔵冷凍車
ダンプ	側ダンプ	貨車	強力吸引機
ダンプ	トレーラダンプ	貨車	強力吸引機
ダンプ	三軸(二軸・サイド)ダンプ	貨車	強力吸引機
ダンプ	ローダンプ(普通車専用)	貨車	強力吸引機
タンク車	タンクローリ	石炭車	タンクローリ
タンク車	タンクローリ	製糖車	タンクローリ
タンク車	タンクローリ	製氷・結氷	タンクローリ
タンク車	タンクローリ	製氷	タンクローリ
コンクリートモミ車	トラックモミ車	農産物	トラックモミ車
製粉機	エア製粉機	製糖車	製糖車
製糖車	スクリーン式製糖車	パン	ウイング
トラック	製糖車専用トラック	冷凍冷蔵車	パン
		キャブオーバー	冷凍冷蔵車

※点検・整備は指定メーカーの指定サービス工場にお願いいたします。(安全・安心・信頼はプロの目でチェックいたします。)

トラック架装物(止物)には「指定メーカー指定定期点検」があります!!

一般 日本自動車車体工業会 中央技術委員会 点検整備推進分科会

■中小会員ネットワーク強化WG

2023年度「営業マン勉強会」キックオフを開催

中小会員NW強化WG(リーダー・矢野彰一(株)矢野特殊自動車社長)では、2020年度に発行した「自動車車体業界の将来ビジョン」の達成に向け、お客様の困り事への対応力を高めるために営業マンの育成を目的に、「営業マン勉強会」を継続開催している。今年度のチーム活動結果のキックオフを7月13日に車体工業会会議室とWebのハイブリッド方式で開催した。

参加12社の営業マンが3チームに分かれ、「2024年問題とは何かを理解し、車体架装メーカーとしてどのような貢献が出来るかを考える」をテーマにチームディスカッションを開始した。当日は、「2024年問題を法制定の背景含め理解すること」、「法が施行されたときの物流業界の問題は何か洗い出すこと」からディスカッションを開始した。昨年は、参加者からは、「同業他社との論議は勉強になった」「共通の悩み事を共有できた」「楽しかった」等ポジティブな感想が多く、今年度も各営業マンにとって有益な活動となるよう、ワーキング委員の2名(株)河野ボデー製作所・河野専務、永光自動車工業(株)・木俣社長のアドバイザーからのサポートを得ながら12月8日の発表会に向け、チーム活動を継続する。

■中小会員ネットワーク強化WG 訪問ヒヤリングを実施

中小会員NW強化WG(リーダー・矢野彰一・(株)矢野特殊自動車社長)では6月21日～22日に、2023年度第1回訪問ヒヤリングを(株)ヤシカ車体、小平産業(株)で開催し、10社10名が参加した。

(株)ヤシカ車体(茨城県石岡市)は、特装事業(特種車両を主に製造)とサービス事業を事業の柱として活動しており、工場見学では家畜運搬車の製造工程及びサービス部門における修理、改造の工程を見学した。「技術力」「提案力」「対応力」の3本柱で、地域に密着した企業活動は、参加したメンバーにとって大いに参考となるものであった。

小平産業(株)(栃木県小山市)は、防衛省車両、各種トラック、ダンプ車の製造やダンプボデーに使用するシリンダー、PTO、トランスファー等の機械部品を製造し、ダンプ車工場、機械工場、塗装工場等を見学した。最新鋭の設備による高品質なクルマ、部品を製造する工場は、技術力と歴史を感じ、多品種少量生産に対応した作業者と最新の技術が融合する、大変見ごたえのある工場に参加者から「勉強になった」「参考になった」との声が多く聞かれた。また、会社概要説明では、両社共に詳しい会社の概要、特徴を丁寧にご説明いただき、大変有意義な工場見学となった。



(株)ヤシカ車体
家畜運搬車製造工程見学



ダンプ車製造工程見学

■「現地現物による技能系社員研修 講師会社が現場を知る」を開催

「現地現物による技能系社員研修」の質向上を図るために、講師会社(者)が受講対象会社の生産方法(つくり方、使用治具等)を知る活動として、6月30日講師会社3社6名が参加し、(株)ケイエムオーの工場見学会を実施した。

会社概要紹介のあと、現場作業員と製造途中の実車を前にし、作業の急所や手順などの説明を受けたのち、講師会社からのアドバイスを交え双方向での活発なコミュニケーションを行い、同じ作業がない中で、やり方だけでなく、何のための作業かなどの目的/考え方を教えることの重要性を認識した。

講師会社からは、受講募集後に受講会社へ使用ツール/知りたいこと/困り事把握などのアンケートを行い受講者の研修満足度を更に高めていくことを確認した。

なお、今年度の技能研修は、トヨタ車体(株)(10月・刈谷市)、日産車体(株)(11月・平塚市)、トヨタ自動車東日本(株)(11月・大衡村)の予定。



現場確認風景

部会だより

NEWS FLASH

特装部会

■特装車メンテナンスニュースNo.56発行

サービス委員会(委員長・石田和雄・新明和工業(株)技術情報部長)は、2023年9月に特装車メンテナンスニュースNo.56(油圧作動油編)を発行した。

今回は、特装車の点検整備の重要性の一環として、特装車の寿命延命は作動油交換とメンテナンスが重要であることを訴求。具体的には、作動油の構成と劣化の仕組み、作動油とオイルフィルタの交換の必要性などを、トラブル事例含め紹介している。

—お客様 各位—

特種車 油圧作動油

メンテナンスニュース No. 56 2023・9

特装車の寿命延命は作動油交換とメンテナンスが重要!!

【作動油及びオイルフィルタは定期的な点検と交換が重要です!】

特装車の作動油は人間に例えると「血液」と言われる程、とても重要なものです。オイルフィルタは「腎臓」の役割を果たし、作動油の中に含まれた油圧回路内で発生した金属粉やスラッジ、また破損切替え等で侵入した異物を除去する働きがあります。特装車の油圧回路は高い圧力で作動油が流れ、温度変化も著しく、化学変化を起こし添加剤の消費・酸化等にて劣化が進みスラッジが形成されます。また、作動油から侵入した水分や酸化物による劣化した作動油を使い続けると潤滑不良を起こし、精密部品である电磁阀・バルブ・シリンダ・ポンプ等の故障などの大きなトラブルに発展し、修理に伴う休業や修理費が増大し経済的なロスとなります。

作動油の構成と劣化について!!

■ 作動油の構成

- 作動油は、ベースとなる油にいくつかの添加剤を混ぜることでグレードと効果が変わります。添加剤の性能が高いほど高寿命、高品質な作動油と言えます。

作動油 = ベース油 + 添加剤

■ 経年による劣化

- 酸素や光の影響を受け化学反応を起こし、スラッジ（泥状の生成物）が発生させます。
- 酸化防止剤（添加剤）は作動油の化学反応を防ぐ役割をしていますが、動くごとに徐々に消費してきます。
- 水・塵埃・金属の摩滅粉などの影響により性能を低下させます。

■ 使用量による劣化

- 高負荷作業や連続作業は、作動油の油温上昇を招き著しく劣化を早める原因となります。

【作動油のメンテナンスを怠ると!!】

一般社団法人 日本自動車車体工業会 特装部会 サービス委員会

特種部会

工場見学会を実施

特種部会(部会長・森孝義・中京車体工業(株)社長)では6月29日～30日に、若手主体の工場見学を開催した。15社21名が参加し、(株)タダノ本社・高松工場及びフジタ自動車工業(株)を見学した。

(株)タダノ高松工場(香川県高松市)では、高所作業車の製造工程等を見学し、高品質なクルマ作りの各種工程、会社



フジタ自動車工業(株) 平ポデートトラック製造工程

概要説明のプレゼンテーションではCO2削減含めたSDGsの取り組みをご紹介いただいた。

フジタ自動車工業(株)(香川県綾川町)では、重機・産業機械運搬車やカーゴ系のダンプトラック工場の見学、及び会社の取り組みのプレゼンテーションをお聞きし、品質向上、生産性向上、省力化、データ化に向けた各種活動は、参加者にとって大変参考となるものであった。

また、質疑応答では、両社共に一つひとつの質問に丁寧にお答えいただき、大変有意義な工場見学となった。

バス部会

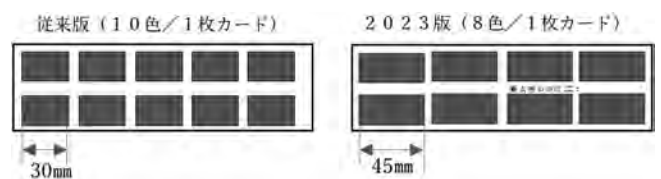
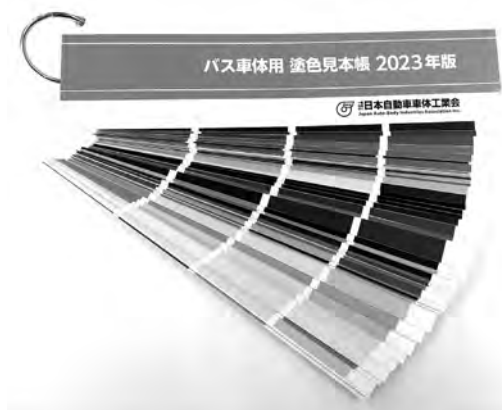
バス車体用塗色見本帳2023年版を発売

バス部会塗装デザイン研究会(委員長・手塚学・ジェイ・バス(株)製造部管理課課長)は、「バス車体用塗色見本帳2023年版」を9月下旬より発売いたします。

「2023年版」は、従来版に対して1枚8色のカードタイプ(下図)にし、色見本を大型化したことにより、色合わせを容易にしました。また従来版からご好評をいただいております色見本を1冊にまとめたことにより、塗色を探し易くしました。

当塗色見本帳は、1975年に当会会員用として発行しました。以来会員をはじめ、板金修理、営業、デザイン等、一般の皆様にも広くご活用いただいております。

申し込み方法、販売価格等の詳細につきましては、近日中午に公開します当会ホームページをご覧ください。



北海道支部

■「役員会」を開催

北海道支部(支部長・上野聡・北海道車体(株)生産開発本部 上席本部長)では、7月26日、役員10名が参加し、役員会を開催した。

支部長から、「2023年度1～5月の会員生産台数の非量産車合計では、2022年度に比較すると22%程増加する良い結果が出ている。厳しい状況もあるが一緒に頑張りましょう」と挨拶があった。

その後、次第に沿って協議された。

1. 合同部会開催について
2. 会員入会の件

(株)滝川自工(取締役社長 滝川琢朗氏)は、2023年8月1日付にて、北海道支部・地域会員(トラック部会)に入会する旨、役員会にて決定。会員数31社となった。

3. その他

車検時の保安基準の解釈について意見交換を行った。

以上、活発な情報交換がされて、役員会を終了した。

中部支部

■カーボンニュートラル勉強会及び工場見学会を実施

中部支部(支部長・景井啓之・(株)東海特装車社長)は、7月21日、支部会員26社75名が参加し、岐阜車体工業(株)(岐阜県各務原市)に於いて「カーボンニュートラル勉強会及び工場見学会」を実施した。

カーボンニュートラル勉強会では、車体工業会環境委員



質疑応答

会の杉山分科会長を講師に迎え、初歩から実践まで具体例も交えた分かりやすい講義を対話形式で行った。加えて、岐阜車体工業での取組み事例紹介等大変好評であった。

岐阜車体工業(株)は1940年設立でトヨタの各種車両を生産しており、今回の見学会ではハイエース、コースター量産ラインの最新プレス工場と組立工場を見学した。「3Dプリンター活用事例」や動力を使わない「からくり」など効果が大きくレベルの高い数多くの積極的取組みに、「自社に持ち帰りたい」「非常に勉強になった」などの声が寄せられた。

気温が高く暑い日だったがとても有意義な勉強会になった。



岐阜車体工業(株)

■愛知県自動車会館PR展示

中部支部(支部長・景井啓之・(株)東海特装車社長)は、事務局が入居する愛知県自動車会館にてPR展示を実施した。

愛知県自動車会館は、入居する自動車関連の17団体がロビーでのPRを実施しており今年で7回目となる。

車体工業会中部支部は7月の担当として、当会員の製品(取扱車種)マイクロバスのミニカー展示を通し「活動紹介」や「車体工業会パンフレット」、「車体NEWS」により、来館者へのPRを実施した。



近畿支部

■「製造部会」を開催

近畿支部(支部長・須河進一・須河車体(株)社長)は、7月14日、21社33名が参加し、極東開発工業(株)(愛知県小牧市)で製造部会見学会を実施した。

極東開発工業(株)名古屋工場では2018年に竣工したパワーゲートの生産工程を見学した。このセンターは日本初の専用ゲート工場で、パーツの搬出は自動化され、最新のAGVの採用による大幅な生産性向上等、会社としての取り組み方が垣間見られる見学であった。見学後は、デモ機の作動テスト及び特徴説明、最終質疑応答等を行った。

コロナ明けで久しぶりに会員が集まる会合となり、会員相互の親睦を図れた良い会合であった。



四国支部

■「講習会」を実施

四国支部(支部長・藤田健一郎・フジタ自動車工業(株)社長)は、6月9日に11社22名が参加し、「不正改造車排除運動」講習会を高松市内で開催した。



講習会では、四国運輸局自動車技術安全部の北井氏を講師に迎え、「不正改造の実態や法令の改正」を中心に講演いただき、基準緩和認定制度関係告示等の改正やこどもの見落とし事故を防止するための国際基準の導入などの詳しい内容についてもご指導いただいた。

3年ぶりの講習会開催で、対面での情報交換もできて大変意義のある会となった。

九州支部

■「第2回支部役員会」を開催

九州支部(支部長・矢野彰一・(株)矢野特殊自動車社長)では、8月8日14社16名(内Web2名)が出席し、「第2回支部役員会」を福岡市で開催した。

今回の役員会では支部長からの中央情勢報告、今後の支部の活動要領の検討及び各社の近況の報告などを行った。活動要領では、秋季研修会の日程、九州管内の工場見学の内容、その他の年度内の支部活動について審議した。近況報告では、まだ不安定ではあるものの、シャンの入庫状況や分解整備の項目が増えたことによる対応、特に夏の暑さによる生産工程の見直しなどが報告された。



道路運送車両の保安基準等の一部を改正する 省令及び道路運送車両の保安基準の細目を 定める告示等の一部を改正する告示について

国土交通省

【改正概要】

(1) 道路運送車両の保安基準及び道路運送車両の保安基準の細目を定める告示の一部改正

道路運送車両法(昭和26年法律第185号。以下「法」という。)第3章の規定に基づく保安基準について、以下の改正を行うほか、所要の改正を行う。

- ① 専ら乗用の用に供する乗車定員10人未満の自動車及び貨物の運送の用に供する車両総重量3.5トン以下の自動車(二輪自動車、側車付二輪自動車、カタピラ及びそりを有する軽自動車並びに被牽引自動車を除く。)は、運転者席から死角となる車両の直前及び側面に近接する歩行者や障害物を確認できるように、協定規則第166号に適合する視認装置又は検知装置を備えなければならないこととする(所定の障害物を直接視認により確認できる場合を除く)。
- ② 専ら乗用の用に供する乗車定員10人以上の自動車及び貨物の運送の用に供する車両総重量が3.5トンを超える自動車(二輪自動車、側車付二輪自動車、三輪自動車、カタピラ及びそりを有する軽自動車並びに被牽引自動車を除く。)は、運転者席から直接視認できる近傍の視界の量(体積)を一定以上確保できるように、協定規則第167号に適合する運転者席を備えなければならないこととする。

(2) 装置型式指定規則の一部改正

以下の改正を行うほか、所要の改正を行う。

- ① 法第75条の3第1項の規定により型式指定の対象となる特定装置の種類に、直前直左右確認装置、大型車の運転者席等を追加する。
- ② 法第75条の3第8項の規定により型式指定を受けたものとみなす特定装置に、協定規則第166号に基づき認定された直前直左右確認装置、協定規則第167号に基づき認定された大型車の運転者席等を追加する。
- ③ 協定規則の改訂に伴い、国内に受け入れる協定規則の番号を以下のとおり改める。協定規則の改訂に伴い、国内に受け入れる協定規則の番号を次のとおり改

める。

第34号第3改訂版	⇒	第34号第4改訂版
-----------	---	-----------

第127号第3改訂版	⇒	第127号第4改訂版
------------	---	------------

(3) 共通構造部型式指定規則の一部改正

協定規則第0号の改訂に伴い、国内に受け入れる協定規則の番号に第0号第5改訂版を加えるほか、所要の改正を行う。

(4) 道路運送車両法関係手数料規則の一部改正

直前直左右確認装置装置、大型車の運転、大型車の運転者者席等々の型式について指定を申請する者が、保安基準適合性についての型式について指定を申請する者が、保安基準適合性についての審査を受けるに際して独立行政法人自動車技術総合機構に納付すべき手数料の額を、実費を勘案して定めるほか、所要の改正を行う。

(5) 道路運送車両の保安基準第二章及び第三章の規定の適用関係の整理のため必要な事項を定める告示(平成15年国土交通省告示第1318号)の一部改正

以下の改正を行うほか、所要の改正を行う。

- ① (1)①の新基準について、当分の間、既存の国内基準に適合する視認装置を備えていればよいこととする。
- ② (1)②の新基準について、2026(令和8)年1月から適用開始とする。

【適用時期】

新型車：2026(令和8)年1月1日

継続生産車：2029(令和11)年1月1日

(6) その他の関係告示の一部改正

上記のほか、関係する告示の規定について所要の改正を行う。

「装置型式指定実施要領について (依命通達)」等の一部改正について

国土交通省

【改正概要】

(1) 装置型式指定実施要領の一部改正

- ① 「直前直左右確認装置に係る協定規則(第166号)」及び「大型車の直接視界に係る協定規則(第167号)」が装置型式指定の対象となることに伴い、当該装置に係る装置型式指定基準を追加する。なお、当該基準は、協定規則第166号及び協定規則第167号を直接引用する。

②以下の協定期則の改訂に伴い、装置型式指定基準において直接引用している協定期則番号の改正を行う。

- ・「車両火災の防止に係る協定期則(第34号)」
- ・「歩行者保護に係る協定期則(第127号)」

(2)型式認証実施要領]及び「輸入自動車特別取扱制度」の一部改正

- ・「直前直左右確認装置に係る協定期則(第166号)」が直接引用されることに伴い諸元項目として追加等を行う。

(3)共通構造部型式指定実施要領]及び「多仕様自動車型式指定実施要領」の一部改正

- ・「直前直左右確認装置に係る協定期則(第166号)」及び「大型車の直接視界に係る協定期則(第167号)」が直接引用されることに伴い特定共通構造部の範囲を記載する様式等を改正する。

(4)「協定期則第0号型式認証実施要領」の一部改正

- ・協定期則第0号が改定されたことに伴い、特定共通構造部(IWVTA)の範囲を定めた様式を改正する。

(5)その他所要の改正を行う。

「自動車の特定改造等の許可実施要領について(依命通達)」等の一部改正について(依命通達)

国土交通省

【改正概要】

(1)許可実施要領の一部改正

- ・特定改造等の許可に係る申請書の添付書面として能力基準への適合を証する証明書(能力基準適合証明書)の提出が必要となっているが、他国において、協定期則に基づく型式の認可証等を取得している場合には、これをもって代えることができるよう改正を行う。

(2)型式認証実施要領、輸入自動車特別取扱制度について、共通構造部型式指定実施要領及び多仕様自動車型式指定実施要領の一部改正

- ・型式指定等に係る申請書及び届出書の添付書面として能力基準適合証明書の提出が必要となっているが、他国において、協定期則に基づく型式の認可証等を取得している場合には、これをもって代えることができるよう改正を行う。

(3)その他所要の改正を行う。

審査事務規程(交通研部分)等の一部改正について(第50次改正)

自動車技術総合機構

【改正概要】

道路運送車両の保安基準の細目を定める告示(平成14年国土交通省告示第619号)等の一部改正に伴い、「審査事務規程」(平成28年4月1日規程第2号)等について一部改正を行う。

1.「審査事務規程」(平成28年4月1日規程第2号)別添1(試験規程(TRIAS))の新規追加及び一部改正を行う。

(1)細目告示に新たに採択された協定期則等に対応したTRIASの新規追加(3項目)

- ① TRIAS 44-R166-01直前直左右確認装置又は直前直左右確認装置の取付試験(協定期則第166号)
- ② TRIAS 21-R167-01 直接視界に係る自動車の試験(協定期則第167号)
- ③ TRIAS 99-020(2)-01 天然ガス重量車燃料消費率試験(JH25モード)

(2)細目告示に既に採用されている協定期則の改訂に伴う一部改正(12項目)

(3)付表等について修正及び項目の追加(36項目)

2. その他、項ずれによる修正等所要の改正を行う。

「審査関係連絡事項」の一部改正について

自動車技術総合機構

【改正概要】

審査関係連絡事項」(平成28年4月1日自交審第36号)の一部を改正する。

軽自動車検査協会検査事務規程(昭和48年9月26日協会規程第16号)の一部改正について

軽自動車検査協会

【改正概要】

検査標章の表示位置をこれまでの「車室内後写鏡の前方の前面ガラスの上部」の位置から、「前面ガラスの運転者席側上部で、車両中心から可能な限り遠い位置であり、前方かつ運転者から見易い位置」に表示するよう所要の改正を行う。

※例外

ただし、その位置が運転者の視野を妨げる場合は、運転者の視野を妨げない、前方かつ運転者席から見易い位置

「特定改造自動車の諸元等の軽自動車検査ファイルへの記録方法の変更について」の一部改正について

軽自動車検査協会

【改正概要】

エネルギー消費効率相当値(燃費値)の算定を受けた特定改造自動車に関する、その諸元の軽自動車検査ファイルへの記録方法について改正する。

詳細は中央技術委員会及び各部会にメール配信済

夏季の省エネルギーの取組みについて

経済産業省

6月9日に開催された省エネルギー・省資源対策推進会議省庁連絡会議において、今年度版の「夏季の省エネルギーの取組みについて」が決定された。

省エネルギーの取組みへのご協力をお願いします。

<詳細は以下を参照>

https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/media/



日本とタイ&インドネシアの大手有力企業がスタートアップからの提案を募集

経済産業省

ジェットロ*及び経済産業省は、タイ及びインドネシアの政府系機関等との共催で、ASEAN-Japan Fast Track Pitchをタイ及びインドネシアにて開催する。

成長を続けるタイ市場・インドネシア市場において強固な事業基盤を有する日本企業とタイ企業、インドネシア企業の合計15社がチャレンジオーナーとなり、自社がスタートアップとの協業を志向するテーマに対して、日本・ASEANを含む全世界のスタートアップからの提案を募集している。 ※日本貿易振興機構

本イベントへの応募を通じて、スタートアップにとっては、(1)ジェットロ等の日本の関係機関だけでなくASEANの政府系機関による支援機会が得られるとともに、(2)日本の大企業だけでなく在ASEANの大企業も含む幅広いスタートアップ・エコシステムへのアクセス機会が得られる。更に、ファイナリストに選出されたスタートアップによる実証事業については、日ASEANにおけるアジアDX促進事業の審査において加点がされる。

<詳細は以下を参照>

<https://www.jetro.go.jp/services/asiadx/>



熱中症対策の一層の強化について

国土交通省

熱中症については、気候変動の影響により、国内の死者数は増加傾向が続いており、近年では年間1,000人を超える年が頻発している。また、地球温暖化が進行すれば、極端な高温リスクも増加することが見込まれ、熱中症による被害が更に拡大するおそれがあり、熱中症対策の強化は急務となっている。こうした背景を踏まえ、政府は、熱中症対策の一層の強化を図るため、「気候変動適応法及び独立行政法人環境再生保全機構法の一部を改正する法律」(以下「改正気候変動適応法」という。)を第211回国会に提出し、2023年4月28日に成立した(2023年5月12日公布)。

また、併せて、今後の政府における計画として「熱中症対策実行計画」を取りまとめた(2023年5月30日閣議決定)。熱中症対策を強化するためには、政府や地方公共団体といった行政機関における取組みのみならず、関連団体や民間事業者において個別の取組みや行政機関との連携を進めていくことが重要。さらに、熱中症対策実行計画においては、事業者の基本的役割や産業界との連携が盛り込まれた。

つきましては、改正気候変動適応法の背景や熱中症予防強化キャンペーンに御理解いただき、熱中症対策の強化への協力をお願いします。

<詳細は以下を参照>

<https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r985200002fpv2.html>



■国土交通省人事異動

(2023年7月1日)

自動車局
審査・リコール課 課長

小磯 和子 氏

(前職)
自動車技術総合機構
交通安全環境研究所自動車認証審査部長

※前任の是則武志氏は、軽自動車検査協会の審議役(経営企画部長兼務)に outward されました。



ご存知ですか、このラベル。

環境にやさしい働くクルマに付いてます。

“環境基準適合ラベル”

環境基準適合ラベルは、架装物解体作業の容易化、再生資源の適正な処理を促進する
“環境にやさしい車体”であることを証明する車体工業会で制定したラベルです。



環境基準適合ラベル
ホワイトラベル 環境に配慮した
3つの要件

適合
要件

- 3R(リデュース・リユース・リサイクル)
判断基準ガイドラインの作成・活用
- 製造者名、樹脂部品材料名の表示
- 解体マニュアルの作成・公開

新環境基準適合ラベル
ゴールドラベル ホワイトラベルに
さらに3つの要件を追加

追加
要件

- + 車体製品部材のリサイクル可能率95%以上
車体工業会における
「環境負荷物質自主取組み基準」
を満たしている
- + ISO14001やエコアクション21など
第三者機関による環境認証取得工場で生産



環境省ホームページ「環境ラベル等データベース」へ登録され掲載されています。https://www.env.go.jp/policy/hozen/green/ecolabel/a04_48.html

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

12 つくる責任
つかう責任



私たちは持続可能な
開発目標(SDGs)を
支援しています。

 社団法人 **日本自動車車体工業会**
Japan Auto-Body Industries Association Inc.

東京都港区芝大門1丁目1番30号 日本自動車会館15階 TEL(03)3578-1681 FAX(03)3578-1684

詳しくはWebページをご覧ください。

JABIA

検索



www.jabia.or.jp

塗装で車両の価値UP!!
意匠性の付与・メンテナンスに!!

意匠性と耐久性を付与!

BEOLINER ベッドライナー ヒースト

BEAST



ボデーやバンパーに!



意匠性や耐久性を付与!

意匠性と耐久性

オリジナリティあふれる塗装

お好みの色相に調色可能



動画は
こちら

下回りを錆から護る!

ハイアートCBエコ

防錆コート



※JIS K5600.71 塩水噴霧試験(1000時間)

高い防錆力

耐チップング性

防振・防音効果



足回りが錆でこうなる前に



しっかりガード!!



動画は
こちら

荷台木部(アピトン/ベニヤ等)を護る!

ウッドプロテクト

木部の劣化を防ぐ!!

圧倒的低コスト!!

施工は簡単!!



Before



After



動画は
こちら



イサム塗料株式会社

札幌・仙台・東京・名古屋・滋賀・大阪・広島・福岡



イサム塗料株式会社
公式チャンネルはこちら



6月			
1日	特装部会／清掃車小委員会 (当会会議室+Web会議)	① 2023年度事業計画の進捗と課題対応について意見交換 ② CN活動に関する共通課題の情報共有	
5日	安全衛生活動WG(Web会議)	① 2023年度活動計画の確認 ② 2022年度収集した災害事例の会員展開前最終確認	
6日	トレーラ部会／業務委員会 (当会会議室+Web会議)	① 神奈川県トラック協会講習会実施結果報告 ② 2023年度各県トラック協会講習会 開催予定日と講師の確認 ③ 講習資料の訂正内容の共有	
8日	商用車ショー企画委員会兼 出展社会議(当会会議室+Web会議)	① 展示車両スペック等の確認とレイアウト確認 ② 当会合同展示ブースの企画内容の確認と意見交換	
	バス部会／ワンマン機器小委員会 (Web会議)	JABIA規格「バス乗客降車合図装置」改正内容の意見交換	
9日	トラック部会／業務委員会 (当会会議室+Web会議)	① 中小会員支援状況の中央業務委員会報告内容の共有・論議 ② 「車体メーカー社員が知っておくべき法規集」LV1(製造向)LV2(設計向)内容 論議	
14日	バス部会／技術委員会(Web会議)	① 2023年度活動項目の進捗状況共有と対応確認 ② 協定規則、法改正動向の共有と対応検討	
15日	環境委員会／ 架装物リサイクル分科会(Web会議)	① 2023年度取組活動内容、スケジュール論議 ② 2023年度環境ラベル訪問支援活動進め方論議	
	バン部会／業務委員会 (当会会議室+Web会議)	① 中小会員支援状況の中央業務委員会報告内容の共有・論議 ② CNの今後の進め方論議	
16日	バン部会／技術委員会 (当会会議室+Web会議)	① 調査・研究テーマワーキング ② R158/R165進捗の共有	
20日	中央技術委員会／CS/SU&コネクテ ド検討WG(Web会議)	自工会による架装工事後のCS車両新規登録までの手順に関する国交省への説 明会に向けた対応について意見交換	
	環境委員会／工場環境分科会	① 2023年度取組活動内容、スケジュール進捗確認 ② 2023年度各調査(CO2、産廃、VOC)の進め方共有 ③ 2023年度CN(産廃)訪問支援活動進め方論議	
21日	特装部会／技術委員会(Web会議)	① 2023年度事業計画の進捗と課題対応について意見交換 ② 2030年度CN目標達成に向けた今年度の活動について議論 ③ 2023年度技術発表会テーマの展開	
	特装部会／業務委員会 (当会会議室+Web会議)	① 事業計画の進捗状況と生産台数の共有確認 ② 中小企業会員支援策の意見交換	
21日 ～22日	中小会員NW強化WG／ 工場見学会(茨城、栃木)	① WGメンバー10社10名による(株)ヤシカ車体、小平産業(株) 工場見学会実施 ② 2023年度第1回WGを開催し、事業計画の進捗共有論議	▶P.8
23日	トラック部会／車両運搬車分科会 (当会会議室+Web会議)	① 2023年度事業計画の進捗と課題対応について意見交換 ② 陸送協会との合同研修に向けた進め方議論	
	トレーラ部会／サービス委員会 (当会会議室+Web会議)	① 2023年度各県トラック協会講習会 開催予定日と講師の確認 ② トレーラ日常点検パンフレット訂正内容の論議 ③ トレーラ定期点検整備の手引きの修正内容の論議 ④ 2023年度トレーラ部会工場見学会 進め方論議	
27日	CN勉強会第6回実践編(Web会議)	5社21名が参加し、以下勉強会を開催(講師：トヨタ車体(株) 杉山室長) ① CNとは(振り返り) ② CN推進方策(実践編)	▶P.5
28日	バン部会／部会会議 (当会会議室+Web会議)	① 事業計画の進捗状況の共有・論議 ② 環境基準適合ラベル取得の推進、進捗状況の共有	

29日	中央技術委員会／ 点検整備推進分科会(Web会議)	① 点検制度運用状況と部会活動の共有 ② 点検啓発用チラシ・ポスターデザインの合意	▶P.7
	特装部会／脱着車キャリアコンテナ技術分科会(Web会議)	① 2023年度事業計画の進捗と課題対応について意見交換 ② CN活動に関する共通課題の情報共有	
	トレーラ部会／技術委員会 (当会会議室+Web会議)	① CS/SU対応について進捗状況共有と協議 ② CS/SU&コネクテッドWG情報共有 ③ R117-04国内採用WG情報共有	
29日 ~30日	特種部会／工場見学会(香川)	若手対象の工場見学を(株)タダノ、フジタ自動車工業(株)で開催	▶P.9
30日	現地現物による技能系社員研修 ～現場を知る～(群馬)	(株)ケイエムオー工場見学実施	▶P.8
	トレーラ部会／製品安全委員会 (Web会議)	整備事業者へのトレーラ整備作業の周知活動の進捗状況の共有と今後の対応を論議	
	特装部会／クレーン技術分科会 (当会会議室)	① 2023年度事業計画の進捗と課題対応について意見交換 ② CN活動に関する共通課題の情報共有	

7月

3日	第1回中央技術委員会 (当会会議室+Web会議)	① 2023年度事業計画の進捗状況の確認と課題対応について意見交換 ② 高電圧特別教育の会員展開内容の確認	
4日	第1回環境委員会 (当会会議室+Web会議)	① 2023年度環境ラベル取得推進 訪問支援の状況報告 ② 2023年度CN連携活動計画、各調査(CO2他)計画の報告	
5日	特装部会／サービス委員会 (Web会議)	メンテナンスニュースNo.56(油圧作動油編)の意見交換	
6日	中央技術委員会／CS/SU&コネクテッド検討WG(Web会議)	① 自工会による架装工事後のCS車両新規登録までの手順に関する国交省への説明結果の共有と対応について意見交換 ② 当会分担資料仕上げに向けた対応	
	第1回中央業務委員会 (当会会議室+Web会議)	① 事業計画の進捗状況の共有・論議 ② 2024年度税制改正要望論議・決定	
7日	特装部会／ミキサ車技術分科会 (当会会議室)	① 2023年度事業計画の進捗と課題対応について意見交換 ② CN活動に関する共通課題の情報共有	
	資材部会／燃焼性試験実態調査委員会 (当会会議室+Web会議)	① 2023年度難燃性試験実態調査についての実施について確認 ② 防滑性床土張り材の試験方法の変更について審議、承認	
10日	バス部会／ワンマン機器小委員会 (Web会議)	JABIA規格「バス乗客降車合図装置」改正内容の意見交換	
11日	トラック部会／部会会議(北海道)	① 事業計画の進捗状況共有・論議 ② CN部会活動について情報交換	
	バス部会／業務委員会(Web会議)	① 本部委員会情報の共有 ② バス市場情報の共有	
12日	特装部会／ダンプ車技術分科会 (Web会議)	① 2023年度事業計画の進捗と課題対応について意見交換 ② CN活動に関する共通課題の情報共有	
	バス部会／技術委員会(Web会議)	① 2023年度活動項目の進捗状況共有と対応確認 ② 協定規則、法改正動向の共有と対応検討	
13日	中小会員NW強化WG／営業マン勉強会 (当会会議室+Web会議)	① 2023年度キックオフ ② テーマに対するチーム論議	▶P.7
14日	バン部会／技術委員会(Web会議)	① 調査・研究テーマのWG開催 ② 中央技術委員会内容の共有	
19日	トレーラ部会／サービス委員会 (当会会議室+Web会議)	① 秋田県トラック協会講習会の実施結果報告 ② トレーラ日常点検パンフレット訂正内容の確認 ③ トレーラサービスニュースの見直し論議	
20日	常任委員会(当会会議室+Web会議)	① 業務改革推進状況 ② 車工会の更なる活性化等	

20日	第272回理事会 (当代会議室+Web会議)	<ul style="list-style-type: none"> ① 審議事項 第1号議案 新入会員に関する件 ② 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> 1) CNの取組み状況 2) 2023年度事業計画 本部・部会・支部別1/4期実績まとめ 3) 2023年度1/4期 収支実績まとめ 4) 商用車架装物リサイクルに関する自主取組みの進捗状況 5) 税制改正に関する要望 6) 最近の商用車販売及び会員生産台数 7) 部会・支部からのトピックス(トラック部会・新潟支部) 他 	
	講演会(くるまプラザ+Web会議)	国土交通省による講演会を実施 テーマ:「最近の自動車技術行政について」 講師:審査・リコール課長 小磯和子氏	
21日	トラック部会/技術委員会 (当代会議室+Web会議)	<ul style="list-style-type: none"> ① 2023年度基準化・基準化進捗報告・論議 ② 中央技術委員会情報の共有 	▶P.3
24日	特装部会/ローリ技術分科会 (当代会議室)	<ul style="list-style-type: none"> ① 2023年度事業計画の進捗と課題対応について意見交換 ② CN活動に関する共通課題の情報共有 	
	中央技術委員会/CS/SU&コネクテッド検討WG(Web会議)	当会分担資料(架装工事事例集)の内容確認と意見交換	
25日	環境委員会/架装物リサイクル分科会 (当代会議室+Web会議)	<ul style="list-style-type: none"> ① 2023年度環境ラベル訪問支援活動 支援先選定を論議 ② 環境取組みの認定制度について論議 	
	バス部会/塗装デザイン研究会 (Web会議)	今年度実施の会員向け塗装勉強会の講師予定会社と企画内容について意見交換	
26日	資材部会/役員会 (くるまプラザ会議室)	<ul style="list-style-type: none"> ① 2023年度CNの取組みについて意見交換 ② 調査研究項目の進捗状況の確認等 	
	中央技術委員会/テールゲートリフタ技術分科会(Web会議)	<ul style="list-style-type: none"> ① 2023年度事業計画の進捗と課題対応について意見交換 ② TGL労働災害撲滅に向けた取組みの進捗状況確認 	
27日	バン部会/技術委員会 (当代会議室+Web会議)	<ul style="list-style-type: none"> ① 調査・研究テーマワーキング ② 新規検査時の指摘についての情報共有 	
	トレーラ部会/技術委員会 (当代会議室+Web会議)	<ul style="list-style-type: none"> ① CS/SU対応について進捗状況共有と協議 ② CS/SU&コネクテッドWG情報共有 ③ トレーラ後軸重規制緩和について意見交換 ④ R117-04国内採用WG情報共有 	
28日	特装部会/粉粒体運搬車技術分科会 (当代会議室)	<ul style="list-style-type: none"> ① 2023年度事業計画の進捗と課題対応について意見交換 ② CN活動に関する共通課題の情報共有 	
31日	特装部会/塵芥車技術分科会 (当代会議室)	<ul style="list-style-type: none"> ① 2023年度事業計画の進捗と課題対応について意見交換 ② 塵芥車の製作基準(JABIA-P1701)の見直しについて議論 ③ CN活動に関する共通課題の情報共有 	
	商用車ショー企画委員会兼出展社会議 (当代会議室+Web会議)	当会合同展示ブースのデザイン、集客イベント及びPRツールの確認と意見交換	

8月

1日	トレーラ部会/製品安全委員会 (当代会議室+Web会議)	<ul style="list-style-type: none"> ① 整備事業者へのトレーラ整備作業の周知活動の意見交換 ② 適正な交換部品の使用について周知状況の確認
2日	中央技術委員会/バックカメラ義務化WG(当代会議室+Web会議)	R158国内運用について車工会内説明書の情報共有
3日	バン部会/部会会議 (当代会議室+Web会議)	<ul style="list-style-type: none"> ① 事業計画の進捗状況の共有・論議 ② CN部会活動について情報交換
7日	特装部会/サービス委員会 (Web会議)	メンテナンスニュースNo.56(油圧作動油編)の最終確認

7日	バス部会／ワンマン機器小委員会 (Web会議)	JABIA規格「バス乗客降車合図装置」改正内容の意見交換	
22日	中央技術委員会／CS/SU&コネクテッド検討WG (Web会議)	当会分担資料(架装工事ガイドライン・架装工事事例集)の内容確認と意見交換	
23日	中央技術委員会/車両後退通報装置検討WG(当会会議室+Web会議)	① 国交省、自動車技術総合機構との打合せ内容の共有 ② 自工会運用案の前後範囲起点位置について議論 ③ 各委員(所属部会)の後退通報に関する意見交換	
24日	中央技術委員会／突入防止装置技術委員会 (Web会議)	JABIAリベット制度運用調査に向けた計画内容の意見交換と確認	
28日	CN勉強会第7回実践編 (Web会議)	6社15名が参加し、以下勉強会を開催(講師：トヨタ自動車東日本(株)) ① CNとは(振り返り) ② CN推進方策(実践編)	
29日	トレーラ部会／技術委員会 (Web会議)	① CS/SU対応について進捗状況共有 ② CS/SU&コネクテッドWG情報共有 ③ トレーラ後軸重規制緩和について意見交換 ④ R117-04国内採用WG情報共有	▶ P.5
30日	特装部会／脱着車分科会(多目的コンテナ小委員会)(当会会議室)	多目的コンテナの普及活動目標及び進め方について議論	
	トレーラ部会／サービス委員会(当会会議室+Web会議)	① 宮崎県トラック協会講習会の実施結果報告 ② 自動車検査員講習会の実施結果報告 ③ トレーラ部会工場見学会の検討 ④ トレーラ定期点検の手引きの修正検討	
31日	中央技術委員会／バックカメラ義務化WG説明会(当会会議室+Web会議)	R158国内運用について車体工業会内説明書の会員向け説明会の実施	

会員情報

■入会	正会員	TAKANO WORK'S(株) 代表取締役 鷹野 衛 〒520-3016 滋賀県栗東市小野371-1 TEL. 077-516-4730 【主要製品】 競走馬運搬車 【所属部会】 特種部会	
■代表者変更	正会員	イワフジ工業(株) 代表取締役社長 有吉 実	
		カヤバ(株) 代表取締役社長執行役員兼COO 川瀬 正裕	
		(株)三協メカニック 代表取締役 石黒 英司	
		デベロテクノ(株) 代表取締役社長 浅野 由美	
		(株)豊田自動織機 取締役社長 伊藤 浩一	
		日本車輛製造(株) 代表取締役社長 田中 守	
		北海道車体(株) 代表取締役社長 村松 寛明	
		松阪自動車工業(株) 代表取締役 橋本 浩和	
		(株)メイダイ 代表取締役社長 岡田 洋一	
		準会員	オラフォルジャパン(株) 代表取締役 Stephen Kampa
		タキロンシーアイ(株) 代表取締役社長 福田 祐士	
		(株)パトライト 代表取締役社長 山田 裕稔	
		妙見島製材(株) 取締役社長 荒井 啓隆	
		リリカラ(株) 代表取締役社長 山田 俊之	
ロンシール工業(株) 代表取締役社長 西岡 秀明			
■本社移転	正会員	(株)エムビーエムサービス 〒939-2757 富山県富山市婦中町道場39-5 TEL. 076-466-4030	
	準会員	(株)コマツコーポレーション 〒124-0023 東京都区葛飾区東新小岩1-18-6-406 TEL. 03-5654-7045	
■退会	正会員	(株)室井製作所	
	準会員	(株)龍村美術織物	



野口 伸一 代表取締役



DATA

■本社 〒252-1121
 神奈川県綾瀬市小園899-1
 TEL 0467-70-7707
 FAX 0467-70-7705
 URL <http://koushin-car.com/>

■資本金 1,000万円

■従業員 20名

■事業所規模

本社工場 約990㎡

■車体工業会加入

2022年3月(特種部会)



光伸(株)

ソーラーパネルによるエコ充電で、外部装置の運用時間が飛躍的に向上

災害用各支援車を始め、多くの電力を必要とする機器を搭載する架装を手がける光伸(株)。機動力は高いが室内空間が限られてしまうワンボックス車両を独自のレイアウトで有効活用。コンパクトなソーラー給電と電源ユニットを組み合わせ、各支援車両の効率的な運用に貢献している。

車体工業会業務部長 小森 啓行

● 特徴・沿革

1997年、横浜市金沢区にあった野口社長の父が経営していた新星工業の売却を機に、営業担当として働いていた野口社長は、自らが担当していた三菱自動車の架装(輸出向け救急車・NTT向け架装)と地元ディーラーの二次架装業務を継続させるべく、新星工業の綾瀬工場を買い取って、光伸(株)として同年に創業した。

輸出向け救急車は三菱自動車の車種廃止に伴い、業務が減少し、またNTT向けの架装も、リコール問題等の発生で減少していったため、徐々に他メーカーの架装も少しずつ手掛けるようになる。

主に、NTT向けの「災害時出動車」「地下工事支援車」「電波測定車」等を手がけているが、顧客からの要望に応える様々な車両の架装も行っている。

他メーカーの車両を手がけるうちにトラック系よりワンボックス系の架装が増え、狭い空間の内装やレイアウトの配置のオリジナリティが強みとなった。

空きスペースを利用したソーラーパネルや電源ユニットの架装を通し、エコ電源ユニットとして部品単体でも販売するようになった。

量産に結びつかなくても、「お客様が安全・安心して使える車」を作ることこだわりを持つ企業である。



災害対策支援車

製品

— 御社の業務の特徴についてお聞かせください。

主に、災害用各支援車、地下工事支援車、電波測定車、移動無線車、特種救急車、輸出向け救急車、現金輸送車等の架装を手掛けています。

お客様の仕様の要求に対して、提案ができる企業を目指して、こだわりを持って、製造するように従業員と共に努力しています。



地下工事支援車

— どのような製品を手掛けているのでしょうか？

電力を利用する架装が多いので、車両の空きスペースを利用したソーラーパネルの設置、電源ユニット本体の省スペース化を得意としています。

電源ユニットは、軽量コンパクトで搭載車両のスペースを無駄にしません。既存電源とのインターフェイスを設けており、オルタネーター、ソーラーパネルからの充電もできます。



災害対策指揮支援車



救急車

ソーラーパネルによるエコ充電で、充電コストを抑えるだけでなく、搭載装置の運用時間も伸び、電源車を別途準備する必要がなくなりました。また、外部装置の運用時間も飛躍的に伸びているので、用途に合わせたフレキシブルな運用を実現しています。

弊社の「エコ電源車両装置」は、トラックのキャブやバンルーフに後付けができ、車両空きスペースの有効活用が可能です。

— 御社の経営方針は？

お客様が社会貢献できる特殊車両を製作・提供できる会社を目指しています。自動車整備の許可を取得し、特種車両の総合サービス事業ができる企業が当面の目標です。

お客様にご満足いただける特種車両作りとサービスを通じ、平和な社会の発展に貢献し、最高の品質と共に地球環境の保全・保護の実現を可能にする「21世紀型企业」へ成長していきたいと思っております。



工場1階



工場2階

人

— 御社の特徴は？

お客様の要求に対してこだわりや情熱や愛情を持って架装をするように全従業員が心掛けています。

新卒の社員はほとんど取っていないので中途採用者を中心に運営しています。定年後は本人と会社がマッチすれば、特に年齢に縛られずに元気に働いてもらっています。従業員と共に

この世に1台しかない良い製品をつくることを心掛けています。

— 次世代の教育について

一人ひとりが色々な仕事を兼務するようにしています。また、新人とベテランOB社員がペアで架装に関われるような工程を組んでいます。

各種研修についてはその都度従業員が交代で受けられるようにしています。



工程会議の様子

NETISに登録された新技術の遮熱塗料

関西ペイント(株)

NETIS=New Technology Information System : 国土交通省が運用する公共工事等における新技術活用システム

国内有数の総合塗料メーカーである関西ペイント(株)は、中期経営計画において、2022年～24年を「持続的成長サイクルへの転換期」と位置づけ、CO₂削減を始めとする様々な目標を掲げ、達成へ向けたESG経営を進めている。

具体的には、「低温化」「時間短縮」「工程短縮」「資源循環」の4つの課題をVE*1や3Rを駆使した解決を目指している。

※1 VE=Value Engineering : 最小のコストで必要な機能を達成することを旨として組織的に機能研究を行う手法

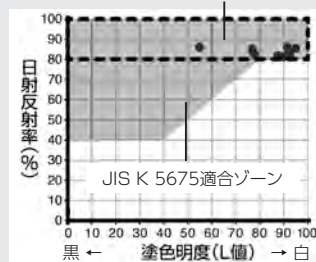
優れた遮熱性能を実現「遮熱レタンECO」

VE指向で開発・販売に取り組んでいるのが、少ない塗装回数で高い隠蔽性と遮熱性を実現する「遮熱レタンECO」である。高顔料濃度と高固形分の配合であれば、反射率を高めて遮熱性能を向上させることは可能だが、仕上がりに肌や光沢の低下を招き、「ガンづまり」や「柚子肌」といわれる塗工時のトラブルも起きやすくなり、本末転倒になりかねない。

最適な配合を見つけ出すまでに、同社の誇る高度な分散技術*2によるトライ&エラーが1年間繰り返され、仕上がりに肌と光沢保持性にも優れた遮熱塗料「遮熱レタンECO」は完成した。従来品に比して、同じ塗り回数で塗板温度の上昇を約40%抑制し、さらに白を含めた13色のカラーパリエーションを揃え、すべての色で日射反射率80%以上*3を達成させている。

※2 分散技術=顔料やフィラーなどを微粒子化し溶媒や樹脂溶液に懸濁させ、その状態を安定化させる技術

「遮熱レタンECO」は全13色において日射反射率80%以上を達成



※3 「JIS K 5675」規格において高日射反射率塗料の水準

公共工事採用で遮熱性能をアピール

遮熱性能は天候や使用環境にも左右されやすく、高い日射反射率だけでは効果の訴求が難しい。販売促進のため、日射反射率だけでなく、もっと遮熱性能をアピールできる方法を模索していたところ、近年の夏の強い日差しで、劣化コンクリートの廃棄が増えている情報をキャッチする。

公共工事で使われる生コンクリートには運搬時間やコンクリート温度に厳しい基準が設定されていて、基準を満たさなかった生コンは廃棄されてしまっているというのだ。

取引先のミキサ車メーカーに紹介してもらった生コンクリート事業者に協力を仰ぎ、日差しの強い夏の炎天下において「遮熱レタンECO」を塗装したミキサ車と、従来のウレタン塗装のミキサ車を併走させて、実際にミキサ内の生コンクリート温度変化を比較測定する実験を行った。

その結果、従来製品と比べて、温度上昇を約70%抑制し、生コンの品質低下を低減できることが現場で確認できた。

「NETIS」への登録

実験結果を受けて、国土交通省が運用する「公共工事等における新技術活用システム：NETIS」への登録申請作業が進められた。全国の自治体が参照するシステムであるため、登録用の行政向けデータや資料の作成は、製品の開発とは次元が異なる苦労の連続であった。

2022年9月に登録が受理されて、NETISに掲載されたところ、多くの問い合わせを受け、顧客開拓に繋がった。

「遮熱レタンECO」は、従来品より少ない塗り回数(時間・工程短縮)で、同等以上の遮熱効果を実現し、積載する製品の劣化を防ぎ、廃棄を抑制(資源循環)させることができる。

製造工程だけでなく、使用段階でのサプライチェーン排出量の削減に貢献する環境対応製品として、今後もミキサ車以外の様々な車両に広く普及するよう努めていく。



NETISサイト



日本事業部門 汎用塗料事業本部 研究開発部門 技術開発本部
車両第1技術部 係長 第1部(平塚) 担当次長
平野 昌典 西澤 安明

関西ペイント(株) 代表取締役社長 毛利 訓士

人と社会の発展を支え、いつまでも必要とされる存在であり続けます。

【本社】〒541-8523 大阪市中央区今橋2丁目6番14号
Tel:06-6203-5531(代) <https://www.kansai.co.jp/>



私たちは資材部会を専門分野ごとにグループ分けを行い、3分科会13グループからなる「ビジネスネットワーク」を設置しております。この「ビジネスネットワーク」は会員の強い連携と結束を実現し、架装メーカーに対して、積極的な協力体制を目指しています。

「VOICE」では、部会会員会社の紹介や製品が開発されるまでのエピソード等を紹介していきます。

水素還元製鉄による化石燃料フリーの鉄

スウェーデンスチール(株)

北欧スウェーデンに本社を置く「スウェーデンスチール社」(以下SSAB*)は、生産量818万トン(2021年実績)で世界50位の中堅鉄鋼メーカーである。SSABの耐摩耗鋼板HARDOX®は「スウェーデン鋼」の名称で、その頑丈さは日本国内でも広く知られている。

*AB=Aktiebolagの略。
スウェーデンにおける会社の意

水素還元製鉄による量産化に世界で初めて成功

製鉄といえば、巨大な高炉で高熱のコークス(石炭)で鉄鉱石を還元させ、真っ赤な鉄が流れ出るイメージであろう。日本の鉄鋼産業のCO₂排出量は、国内全産業の排出量の40%を占めており、排出量削減は急務となっている。

SSABの「水素還元製鉄」は化石燃料を使わずに、電気でも高温・高圧力状態にした水素を用いて、鉄鉱石を直接還元して鉄を作り出す。水素製鉄は既存の技術だが、生産量の少なさやコスト面から量産工場が作られることはなかった。

北極圏に近いスウェーデンでは、気候変動による気温上昇や自然災害の増加が顕著で、様々な分野で環境対応を急ぐ必要に迫られていた。国家的プロジェクトとして、SSABは2016年から「水素還元製鉄」による量産技術の確立を目指し、本格的な開発を開始した。2019年には量産技術の確立に成功し、特許を取得。大型プラントを建設し、化石燃料フリー鋼「FOSSIL FREE STEEL™」を2026年からの販売開始を発表した。2021年には自動車メーカーに少量ながらも「FOSSIL FREE STEEL™」の鋼板を納品している。

グリーン電力で水素を作る

自然界に水素は単体でほとんど存在しないため、水を電気分解して作り出さなければならない。スウェーデンでは、2020年時点で化石燃料以外(水力・風力・原子力)の発電比率が98%となっている。SSABの水素還元製鉄には、これらのグリーン電力を使って製造された水素を使用している。



瀧上 達也
代表取締役

近藤 博
自動車用鋼板専任

グリーン電力の電炉で製鋼&リサイクルの二刀流

「水素還元製鉄」で精錬された鉄は、無数の穴が開いたスポンジ鉄となっているため、「電炉」で融解させて、スラブと呼ばれる板状の半製品に加工される。電炉に使われる電力にもグリーン電力が使われているので「FOSSIL FREE STEEL™」は、文字通り、化石燃料を全く使わずに作られた鉄となっている。この電炉は鉄スクラップを原料とするリサイクル製鋼にも併用されており、グリーン電力の電炉によってリサイクルされた鋼板「SSAB ZERO™ STEEL」の販売も今年から開始する。



化石燃料フリーの二つのブランド

段階的に「水素還元製鉄」と「電炉」による生産の比率を増やし、2030年には高炉による生産を廃止する計画だ。

価格は高いが引き合いは強い

通常水素還元鉄は倍以上の価格となる場合が多いが、「FOSSIL FREE STEEL™」は高炉で作られた同製品と比べて30~40%程度の価格増に抑えている。欧米の自動車メーカーの引き合いは強く、2026年の予定生産量130万トンの多くが自動車向け鋼板「DOCOL®」ブランドで出荷される見込みとなっている。



国内でも環境問題への関心が高い大手商用車ユーザーに対する期待は高く、今後国内の自動車メーカーからの発注も見込んでいる。

自社だけでは生産量に限界があるため、特許技術を他の鉄鋼メーカーにライセンス供与する準備も進められている。化石燃料を全く使わない水素還元製鉄をいち早く普及させ、持続可能な社会の実現にSSABは貢献していく。

スウェーデンスチール(株) 代表取締役 瀧上 達也

パフォーマンスと持続可能性の向上のためのサービスを提供しています。

【本社】〒108-0014 東京都港区芝5-26-20 建築会館5F
Tel: 03-3456-3447 <https://www.ssab.com/ja-jp>



知りたい

「GXとは？」

そこが

第58回

温室効果ガスを発生させる化石燃料から太陽光発電などのグリーンエネルギー中心へと転換し、経済社会システム全体の変革に向けた取組みを指す「GX」。カーボンニュートラル(CN)を達成し、脱炭素社会の実現に向けた経済成長の機会として注目を集める「GX」について報告する。

Q1 「GX」とは？

GXとは、Green Transformation(グリーントランスフォーメーション)の略称で、温室効果ガスを発生させる化石燃料から太陽光発電、風力発電などのグリーンエネルギー中心へと転換し、経済社会システム全体を変革しようとする取組みを指す。

Q2 GXが必要とされる背景と政府閣議決定とは？

GXが必要とされる背景は、地球温暖化による環境問題の深刻化である。世界的な異常気象、海面上昇、洪水、水不足、生態系の損失リスク等更に高まる中、国際的な枠組みの「パリ協定」では、「世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃より十分低く、かつ1.5℃に抑える努力をする」目標が掲げられ、温室効果ガス削減・脱炭素の取組みが求められている。

2022年6月、岸田内閣が閣議決定した「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画」の中で、「新しい資本主義に向けた計画的な重点投資」の一つとして、GXへの投資が掲げられ、CNに向け経済社会全体の大変革に取り組むとして、今後10年間に150兆円超の投資を実現するとした。具体的には、官民投資を先導する「GX経済移行債」による先行調達、長期的な投資支援の他、2022年7月より岸田内閣総理大臣を議長とした「GX実行会議」が開催されている。

Q3 GX実現に向けた政府の2つの取組みは？

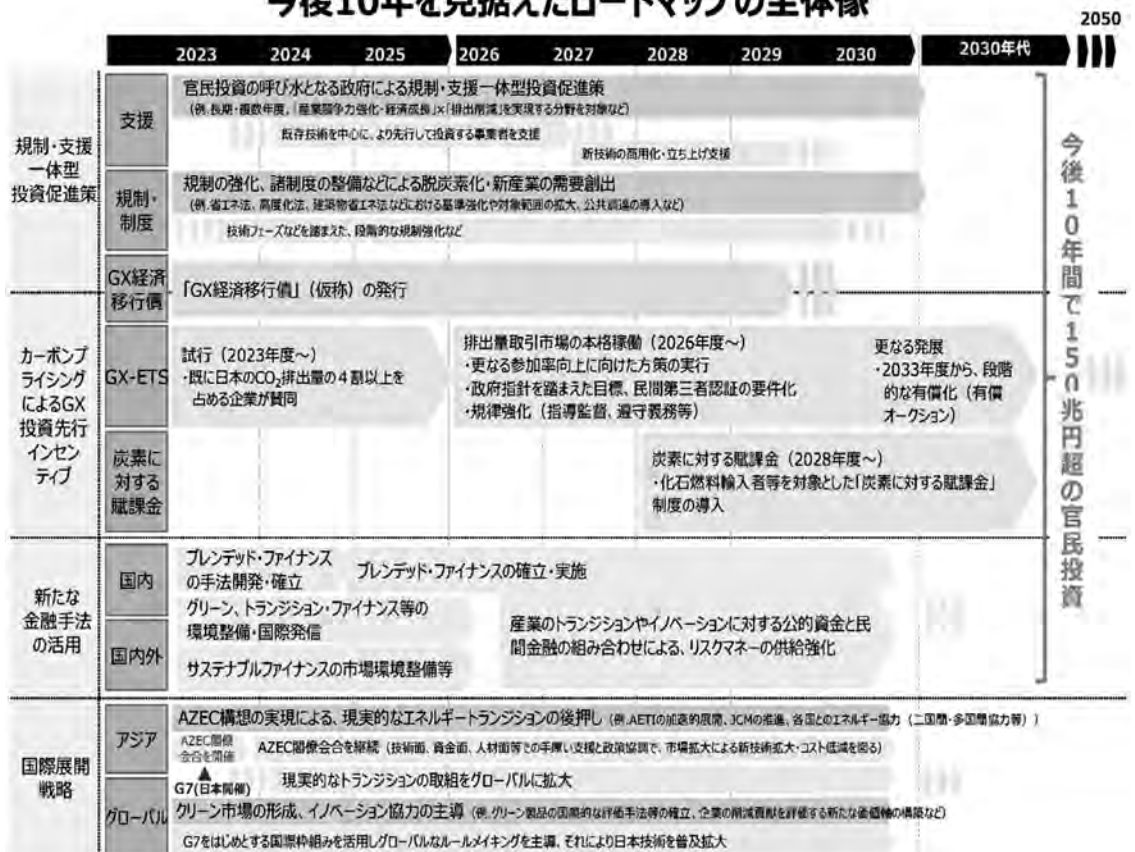
<GX実行会議>

GX実行会議は、必要な施策を検討するために設置され、岸田内閣総理大臣を議長とし、内閣官房長官やGX実行推進大臣と有識者などにより構成。2022年7月の第1回GX実行会議では、「①日本のエネルギーの安定供給の再構築に必要な方策」「②それを前提として、脱炭素に向けた経済・社会、産業構造変革への今後10年のロードマップ」などが論議された。

その後、会議での議論及びパブリックコメントを踏まえ、2023年2月に「GX実現に向けた基本方針」が閣議決定。基本方針では、「エネルギー安定供給の確保を大前提としたGXの取組み」「成長志向型カーボンライジング構想等の実現・実行」及び「今後10年を見据えたロードマップの全体像」などが示されている。

【経済産業省HP GX実現に向けた基本方針参考資料】

今後10年を見据えたロードマップの全体像



<GXリーグ>

GXリーグとは、CNの実現及び社会の変革を見据え、持続的な成長を目指す企業群が連係し、官・学とともに協働する場。

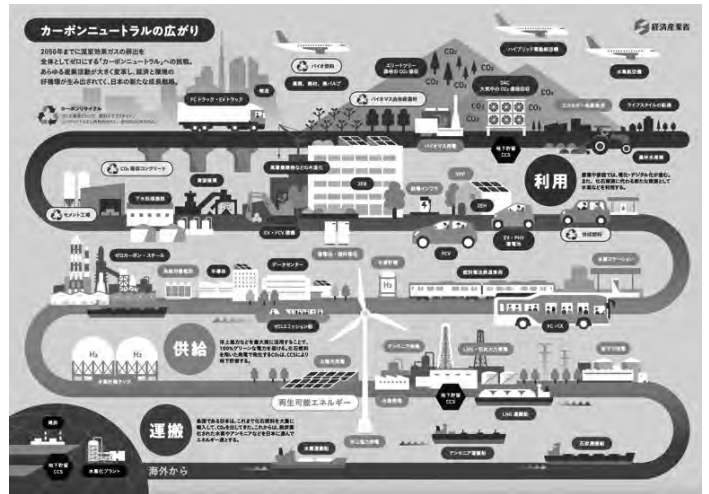
2023年1月末時点で、トヨタ自動車やパナソニックをはじめとした679社の賛同企業が参画。「リーダーシップ」をコンセプトに、GXへ挑戦する企業が外部から正しく評価され成長できる社会(経済と環境及び社会の好循環)を目指している。

【GXリーグが提供する3つの場】

- ①未来社会像 対話の場
 - ：2050年CNに向け、未来の社会像とそこに向けた経済社会システムの移行像を示す
- ②市場ルール形成の場
 - ：CN時代の市場創造やルールメイキングを議論する
- ③自主的な排出量取引の場
 - ：カーボン・クレジット市場を通じた自主的な排出量取引を行う

【GXリーグへの参画企業に求められる要件】

1. 自らの排出削減の取組み
 - ：CN実現への賛同及び削減目標、目標達成に向けた計画の策定、取組み内容の公開など
2. サプライチェーンでのCNに向けた取組み
 - ：自社だけでなくサプライチェーン全体でCN実現へ取り組む
3. 製品・サービスを通じた市場での取組み
 - ：調達・購入の際にはグリーン製品を優先し、消費市場のグリーン化に寄与する



【経済産業省HP 2050年CNに伴うグリーン成長戦略】



【GXリーグが提供する3つの場】

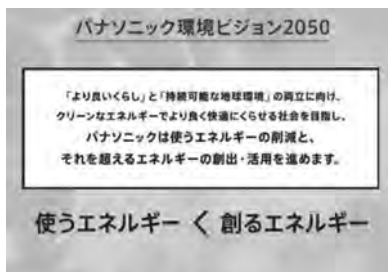
Q4 企業がGXに取り組むメリットは？

- ① **公的予算増加が期待**：今後10年間に150兆円超の投資を実現する方針で補助金の増加が期待。温室効果ガス削減に取り組む企業を支援する「ものづくり補助金(グリーン枠)」や「事業再構築補助金(グリーン成長枠)」は一部要件緩和予定
- ② **企業イメージの向上**：GXに取り組むことで、企業イメージ・ブランドイメージの向上が期待。企業姿勢が評価され、就活生や転職活動中の求職者へも好意的な印象で、人材確保に有利。GX関連の専門的スキルを持つ人材の獲得の可能性も高まる
- ③ **コスト削減**：GXの取組みでは、自社使用のエネルギー量節約が必要で、コスト削減に繋がる。また、自社工場等への太陽光パネル設置・発電で自社使用分を賄えば、エネルギーや資源価格上昇に対するリスク対策にもなり得る

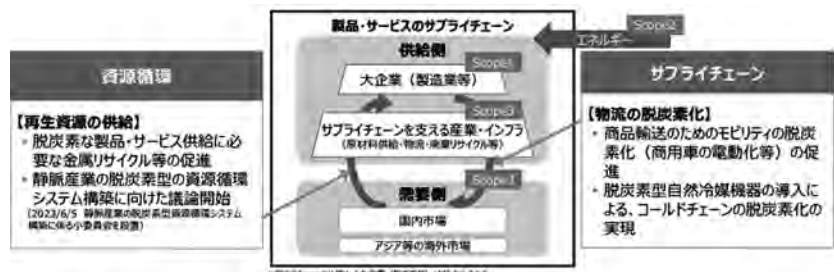
Q5 日本企業の事例は？

<トヨタ自動車> トヨタ自動車は、パリ協定が採択された2015年に「トヨタ環境チャレンジ2050」を発表。GXリーグに参画し、ライフサイクル、新車、工場の各々のCO2ゼロチャレンジを目指している。

<パナソニック> パナソニック及び同グループは、2022年1月に環境コンセプト「Panasonic GREEN IMPACT」を発表。2050年に向け、製品の省エネ化、省エネソリューション、グリーンエネルギー技術の提供などを通じ、世界のCO2総排出量の「約1% (=3億トン)」※削減で、社会のCNに貢献すると示した。※2019年エネルギー起源CO2排出量 336億トン(出典：IEA)



【パナソニック環境ビジョン2050 HP】



【サプライチェーンの脱炭素化・資源循環 GX実行会議 環境省資料】

Q6 車工会としての取組みは？

「GX」は、当会が2021年から強力に推進するカーボンニュートラル(CN)の活動を更に後押しする政府の活動指針である。トヨタやパナソニック等日本の大企業が率先実施し、更に社会・地球規模のCNの活動に貢献する取組みでもあり、日本産業の中核をなす自動車産業の一翼を担う当会として、引き続き意識高く取り組むべきである。

特に、補助金、コスト低減の直接的なメリットを享受し、かつ先んじた活動による企業イメージ向上や、更には人材の採用確保、定着に繋げる必要がある。

働くクルマたち



第42回：医療防疫車

社会に欠かすことができない車体工業会会員が製造している多種多様な「働くクルマたち」について、毎回車種を選定し、その特徴等、日頃は目にしないところを含めて紹介していく。

第42回目は、特種部会会員が生産する医療防疫車について紹介する。

医療防疫車とは

特種用途自動車は、その車体形状毎に構造要件等の細部取扱いが規定されている。その中で、医療防疫車の構造要件は、国、地方自治体、日本赤十字社、医療法に基づく病院若しくは診療所等において健康診断や治療のため、又は獣医療法に基づく診療施設開設の届出をした者が動物の治療等のために使用する自動車で、6つの構造上の要件を満足しているものと定義されている。

6つの構造要件詳細は、以下のP.19を参照。

<https://www.jidoushatouroku-portal.mlit.go.jp/assets/pdf/youtokubun-saibu.pdf?t=1691478174158>

医療防疫車を用いた集団検診のはじまりは、昭和35年(1960年)に東北大学の黒川教授が「医者が病院にいただけでは、治療が困難になってしまった患者さんは来てくれない。だったら医者の方から現場に出向いて、早い段階のガンを見つけよう!」と思い立ち、教授を中心に日本初のレントゲン車を開発。宮城県で胃がん検診の巡回を始めたのがはじまりとされている。



1. 胸部、胃胸部レントゲン車

資料提供：(株)イズミ車体製作所

<胸部レントゲン車>

ベース車両：いすゞ自動車 FORWARD

車両寸法：全長6990mm 幅2300mm 高さ3410mm

主な仕様：定員5名

電源：蓄電池システム(20kwh)

冷房：天井設置型冷房装置+家庭用エアコン

暖房：温水式プレヒーター

特徴：電源に蓄電池システムを採用し、環境負荷を削減することにより環境保護に貢献。



胸部レントゲン車

<胃胸部レントゲン車>

ベース車両：いすゞ自動車 GIGA

車両寸法：全長10630mm 幅2490mm 高さ3400mm

主な仕様：定員8名

電源：発電機(18KVA)

冷房：家庭用エアコン 暖房：温水式プレヒーター

特徴：左側面中央乗降口から車内に入ると車両前方は胸部X線撮影室、車両後方は胃部X線撮影室と完全に区分けし、スムーズな検診を可能としている。



胃胸部レントゲン車

2. 子宮がん／乳房検診車

資料提供：(資)中北車体工作所

<子宮がん検診車>

ベース車両：いすゞ自動車 2RG-FSR90T2

車両寸法：全長7900mm

幅2490mm

高さ3490mm

主な仕様：定員3名

電源：発電機(6.5KVA)

冷房：家庭用エアコン

暖房：温水式プレヒーター



子宮がん検診車

特徴：

お客様と受診者様の会話が待合室に聞こえないよう防音対策として、待合室と検診室の間に狭い空間を作り、会話が聞こえにくい構造としている。又快適な検診ができるよう、検診従事者様、車両運転者様、お医者様と①検診台の位置②椅子(受診者様及びお医者様が着座)の配置、大きさ、形状③更衣室のカーテンの生地、色等の仕様打ち合わせを重ね、可能な限り要望を取り入れた仕様を実現している。

<乳房検診車>

ベース車両：日野自動車 2PG-FQ1AWJJ
 車両寸法：全長10990mm 幅2490mm. 高さ3650mm
 主な仕様：定員9名
 電源：発電機(26KVA)
 冷房：車両直結パッケージクーラー
 +家庭用エアコン



乳房検診車

特徴：プライバシーの保護及び狭い車両の中で可能な限り快適に更衣、検診ができる様に又車両の外観を安心できる優しい感じが出るように製作している。又更衣室のカーテンの色を各更衣室毎に変え受診者の順番対応や、明るい雰囲気醸し出す工夫もしている。
 レントゲン装置は温度変化に敏感な為、検診終了後も急激な温度低下や温度上昇を防ぐ必要があり、上記の通り、冷・暖房装置を強化し、温度管理を可能としている。

3. CT検診車

資料提供：東京特殊車体(株)

ベース車両：日野自動車 2RG-FW1AHJ改
 車両寸法：全長11100mm 幅2490mm 高さ3450mm
 主な仕様：定員3名
 電源：発電機(60KVA)
 冷房：店舗用エアコン+家庭用エアコン
 暖房：温水式プレヒーター

特徴：CT装置を稼働させる為の大型発電機を搭載している。またCT装置も非常に大型であり通常のレントゲン装置のように天井からクレーンでの搭載が難しい為、ボデー側に機器搬入用扉を設置している。室内は受診者の不安を和らげるように間接照明や落ち着いた雰囲気の内装に仕上げることが多い。



車室内CT装置



CT検診車

4. MRI検診車

資料提供：東京特殊車体(株)

ベース車両：東邦車輛 TE26H4C2改
 車両寸法：全長13785mm(トラクタ含む)
 幅2490mm 高さ3540mm
 主な仕様：定員0名(トレーラ)
 電源：発電機(15KVA)
 冷房：家庭用クーラー×3式
 暖房：温水式プレヒーター



MRI検診車

特徴：強力な磁場を発生させ撮影することから、撮影室内はすべて防磁シールドが施されている。またMRI装置も単体で10t前後の重量があることから単車への搭載が難しくトレーラを採用。室内の仕上げはCT検診車と同様に間接照明等が好まれるが、前述の通り、撮影室内の装備品は全て防磁シールド対応した特殊な製品を採用している

5. 主要医療防疫車年度別生産台数

(台)

年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
胸部レントゲン車	80	72	59	70	59	69	52	48	49	36
胃及び胃胸部レントゲン車	92	81	70	59	62	62	52	49	46	28
子宮がん検診車	10	8	5	10	9	7	7	10	6	6
乳房検診車	12	6	5	8	12	21	19	18	9	15
検診車	18	10	11	18	26	38	22	12	33	12
採血車	20	17	12	11	13	15	26	27	39	25
その他	7	13	6	1	7	3	3	15	10	6
合計	239	207	168	177	188	215	181	179	192	128

Member's Essay COFFEE BREAK

楽しいを共有できるもの

(株)ケイエムオー ^{いしはら りょう} 石原 良

私が初めてギターを触ったのは中学2年生の冬。お年玉を貯めて初心者向けにセット売りされているものを購入しました。ギターを始めたきっかけは「BUMP OF CHICKEN」というバンドに憧れて、自分もギターを弾けたら楽しそうと思い始めました。練習を重ね同バンドの曲が弾けた時の達成感や楽しさは今でも忘れません。

高校生になり軽音楽部に入部し、そこで初めてバンドを組みました。そこから仲間と音楽を演奏することの楽しさに気づき、毎日部室に集まり演奏をしていました。この頃は、毎日2時間以上は必ずギターを弾くといった目標を立てており、自分でも相当なハマリ具合だと思っていた。



ギターを演奏する筆者

高校3年生の時には学外でバンドを組み始め、交流する人々の幅が広がりました。そこで出会ったバンド仲間とは今でも時々バンドで演奏をしています。高校を卒業してからはライブハウスでライブをするようになりました。県内のライブハウスはもちろん他県への遠征ライブも行いました。オリジナルの曲を作り活動したこともあり、そういった活動を通して様々な出会いがあり、沢山の刺激を貰い、考え方を養うことができ、とても充実した青春時代でした。

私にとってギターとは他人と『楽しい』を共有するためのものだと思っています。1人で難しい曲に挑戦して達成できた時の嬉しさはもちろんありますが、バンドとして他人と息

を合わせひとつのものを作り上げることの楽しさ、プレイの癖やこだわり、知識やくだらないこと等を共有して盛り上がるができる、そういったことができちゃうのは私にギターがあったからだと思います。もともと引っ込み思案で他人と話すのが苦手な私ですが、音楽を通してなら、そういったことが楽しくできるので、音楽を好きになって良かったなとつくづく思います。

ギターを始めて15年以上になりますが、これからも飽きずに続けていきたいと思っています。



ライブ会場では多くの音楽仲間と交流

森と山と間伐と

トヨタ車体(株) 電子設計部 ^{まとう たくま} 鬼頭 琢磨

トヨタ車体(株)では社員有志を集め、2012年より愛知の県有林で間伐ボランティア活動を行ってきました。元々自然が好きなお仕事もあり、そこに主要メンバーとして参加し早10年。休日に山に入り、チェーンソーを使ってせせとスギ・ヒノキを切り倒すことが日常になりました。4年前には会社活動とは別に間伐チームを立ち上げ、こちらは主に社員保有の個人山林を活動の場としています。

ところで、なぜ間伐が必要なのでしょう？2000年の東海豪雨では、名古屋市周辺の浸水の他、山間部においても人工林が崩れ土石流と化し、多くの被害が発生しました。安い外国材の流入などで林業人口が減り、放置山林が増えたことが一因とされています。本来スギ・ヒノキなどの人工林



間伐作業中の筆者

は、最初に苗木を沢山植え、その後の成長に応じ徐々に間引いていくことが必要で、これを「間伐」といいます。山を切り開いて

植林した以上、適宜手を入れる責務があるということです。しかも人工林は全国土の1/4を占有…。この放置山林の問題を何とかしたい、という思いで間伐に取り組んでいます。

現代の間伐は想像以上に科学的です。まず現地でも木の密集度を計測し、手を入れるべき過密箇所を把握します。その後切り倒す木を決定し、ロープ掛けなど安全対策を施した上で、V字カット形状「受け口」をチェーンソーで精密に作りこみ、倒れる方向・速度をコントロールしながら伐倒。正確な位置出しのためレーザーポインターなども活用します。



間伐チームの仲間（右下が筆者）

それでも、状況によっては倒す途中で周囲の木にひっかり難儀することも度々で、あらゆる局面で様々な知見と実践力が求められます。自動車開発に身を置く者として、この技術的な奥深さに魅了されています。また、年齢・経験によらずフラットに意見を言いあえる間伐チームの仲間は、私にとってかけがえのない財産です。

私達間伐ボランティアは微力な存在ですが、活動を通じて少しでも森と山に関心を持つ人が増え、手入れの行き届いた健全な人工林復活に貢献できれば幸いです。



筆者のマイチェーンソー

感動の場所「OKINAWA」

株式会社Earth Power 管理本部マネージャー 佐々木 友也

毎年行く沖縄も今年で8年目となりました。高校時代に修学旅行で行ったときの感動が忘れられず、多い年で年に3回行くほど沖縄県に行く旅が増えました。



沖縄の海と筆者

沖縄県は「海」が綺麗で「料理」が美味しく、「人柄」も優しく面白い方が多い素敵な場所です。

そんな沖縄に私が行く理由は全てにおいて「感動」を覚えたからです。多少なりとも「沖縄」という補正はかかっているとは思いますが、海が綺麗でジンベイザメやウミガメを見ることができて、島の料理が美味しく、島独特の雰囲気味わえて、夜には島の曲を聴きながら泡盛を飲んで、外に出て上を見上げると空一面に星空が広がっている。こんな素敵な体験や感動を日本での1度の旅で味わえる場所はないと思います。そんな感動を味わいながらリフレッシュして思い出を作ることが私の長年続いている趣味の一つです。

「沖縄」と一括りにしていますが、沖縄県の中には離島が多くあります。熱帯地域の「西表島」、サンゴ礁に囲まれていて波が穏やかな「石垣島」、海が一番綺麗でリゾートが味わえる「宮古島」、離島で最も美しい島「久米島」などそれぞれの離島でも特徴やアクティビティが異なるので、まだまだ探索しきれないと思います。

これからもI LOVE OKINAWAの気持ちで様々な体験・感動を探しに旅に出ようと思います。



琉球泡盛



久米島空港

いどばた会議

私のSDGs Part6

趣味からSDGs

(株)東海特装車 藤井 晃汰

私の趣味はゴルフです。
ミスショットでボールを見失ってしまうことがよくあります。このようなボールは放置され続けると分解されるまでに約1000年掛かり、環境汚染にも繋がってしまいます。
そこで私は放置されているボールを見つけたら回収し、環境に優しいゴルフを心掛けています。



使えるものは何でもリサイクル

(株)トノックス 岩井 宏太

今までプラスチック製の箱を購入し、ゲームソフトを収納していたが、宅配便の段ボールがサイズのちょうど良いことに気づき、収納棚を製作。2段にすれば32枚くらいゲームソフトが収納できる。
プラ箱も購入しない。段ボールも廃棄しない。お手軽リサイクルです。



フェアトレード商品の購入

トヨタ自動車東日本(株) 阿部 琢朗

私の家族は、夕飯後必ずティータイムがあるのですが、そこでたしなむコーヒーやチョコレートはなるべくフェアトレードのマークが書いてある商品を選ぶようにしています。
貧困に苦しむ生産者を応援する意味でもこの活動は続けたいです。



SNSを使った支援の形

トヨタ自動車東日本(株) ^{きっかわ みづき} 吉川 美月

大学時代のボランティア活動の一環で行った「おにぎりアクション」をこれからも継続して行いたいと思っています。毎年秋ごろ開催される、おにぎりの写真投稿のみで支援へ繋がるプロジェクトです。

ぜひ調べて参加してみてください。



みんなに優しいエコドライブ

トヨタ自動車東日本(株) ^{ひぐち きや} 樋口 沙耶

自分の車を購入してから、休日はドライブを楽しんでいます。私が意識しているのは、ふんわりアクセルと安定走行。少しの心がけで、安全運転や燃費向上に繋がります。

安全で環境に優しいエコドライブをみんなで楽しみましょう！



捨てる物で夏を快適に！

(株)ランテックス ^{あわの ちえこ} 栗野 智恵子

毎日暑くて冷房無しでは過ごせませんが、そんな中、飲み終えたペットボトルに水を入れて凍らせた物を室内に置いておくと、ペットボトルに周辺の湿気が集まり除湿効果があるんです！

寝室等に置くと、ヒンヤリして短時間で部屋が冷やせて節電になります！



家族ぐるみでフードロス削減 & 地産地消

イサム塗料(株) ^{なかむら な} 中村 はる菜

県内に住む祖父母が畑で育てている無農薬の野菜や果実を食事に取り入れるようにしています。

フードロス削減をモットーに、週末の家族会議でメニューを決めています。地産地消しながら料理やお酒も楽しめて、皆がハッピーです！



ベルマークで社会貢献！

日本ペイント・オートモーティブコーティングス(株)
^{たにぐち ゆうひ} 谷口 雄飛

会社で取り組んでいる社会貢献活動「ベルマーク寄付」に参加しています。社員食堂で提供されているお菓子の袋に付いているので、切り取って回収箱に投函します。

些細なことですが、地域の役に立てばうれしいです。



愛宕自動車工業(株)
総務管理事業部 総務企画課
みぞべ しんご
溝部 慎吾さん



我が社の

元気人

ジェイ・バス(株)
特装・サービス部
こばやし じゅん
小林 純さん



人との繋がりを
広げられる点も
仕事の醍醐味です。

感謝の言葉をいた
だいたときに、嬉しい
気持ちになります。

Q1 どんなお仕事ですか？

労務管理や安全衛生、社内外イベントの企画運営など、その業務範囲は多岐にわたります。その中でも今力を入れていることは「弊社創業100周年までに社員100名体制」にすること。そのためにインターンシップや高校・大学に訪問し会社説明を行うなど、積極的な採用活動を行っています。

Q2 仕事で楽しいときは

様々な業務に関わるため、幅広い分野での知識やスキルが身に付きます。以前までできなかった業務ができるようになったときは、大きなモチベーションになります。また、社内外の方と直接やり取りできる機会が多く、人との繋がりを広げられる点も仕事の醍醐味です。

Q3 仕事でつらいこと

毎月のルーティン業務に加えて、突発的な業務にも対応しなければいけない点に大変さを感じます。しかし、上司からのフォローをいただきながら、試行錯誤してやり遂げた際は、達成感を得ることができ、この経験の積み重ねが自身のレベルアップに繋がると感じます。

Q4 これまでの仕事の中で 印象に残っている出来事は？

昨年の忘年会を成功させたことです。弊社と協力会社の方、併せて100名超の忘年会を行いました。「豪華景品が当たるビンゴゲーム」や「元気イキイキグランプリ」を企画運営し、多くの方から満足の声をいただきました。達成感もありましたし、良い経験となりました。

Q5 御社のPRをしてください！

愛宕自動車工業(株)は、主力製品である「エコロジーボックス®(リサイクル資源運搬車)」や「リニポ®(トラックボデーリニューアル)」などの製造販売を通じ、循環型社会・脱炭素社会の実現に向けた事業を行っています。弊社製品について、興味がありましたらお気軽にお問い合わせください。

Q1 どんなお仕事ですか？

バス製造会社のアフターセールス部門で、補給部品の販売をしている部署に所属しています。販売会社様からの補給部品に関する注文・問合せ受付や電話対応、また補給部品の在庫管理や協力企業との納期調整等様々な業務に携わっています。他部署と比べると社外との関わりが多い仕事です。

Q2 仕事で楽しいときは

平日は130件以上の注文・問合せがあり、1日60~70件程の電話対応をしています。その中でお客様である販売会社様から厳しい言葉をいただくこともあります。その反面、気遣いや感謝の言葉をいただいたときに、とても嬉しい気持ちになります。

Q3 仕事でつらいこと

補給部品は在庫していない部品もあり、お客様のご要望に沿えられないことです。15年以上前に生産が終了したバスの部品注文もあり、部品手配自体が難しいこともあります。その場合、新たに製作できるかどうか検討した結果、お断りせざるを得ないときはお客様への返答がとてつらいです。

Q4 これまでの仕事の中で 印象に残っている出来事は？

補給部品倉庫を社内から社外へ移転したことです。大々的な引越は社内でも初めての試みで、レイアウト構想から運搬計画・引越後の運用方法まで部を挙げて実施しました。限られた期間での引越はプレッシャーもありましたが、終えた後の達成感はひとしおでした。

Q5 御社のPRをしてください！

ジェイ・バス(株)は日本の大中型バスの約7割を作っています。皆さまの「移動」をより安全で快適なものにできるよう、社員一同変化を恐れず積極的にチャレンジし続けます。また、新車だけに限らず、特装・サービス部では改装や改修にも力を入れています。是非、販売会社様経由でご相談ください。

2023年1月～6月 会員生産状況概要

① 合計(非量産車+量産車)

- ・1月～6月の累計台数は、前年比27.9%増と、2年ぶりの前年超え
- ・2021年度比では、2.0%減

② 非量産車合計

- ・1月～6月の累計台数は前年比21.3%増と2年ぶりの前年超え。トレーラを除く全ての車種が前年超えとなった
- ・2021年度比では、11.1%減

③ 特装車

- ・1月～6月の累計台数は、前年比12.6%増と2年ぶりの前年超え
- ・輸送系は同19.5%増、作業系・その他は同11.0%増、輸出向けは同11.2%減

④ 特種車

- ・1月～6月の累計台数は、前年比19.6%増と2年ぶりの前年超え
- ・緊急用が同90.2%増、その他が17.7%増、車いす移動車が同28.2%減

⑤ 平ボデートラック(除シャシメーカー標準トラック)

- ・1月～6月の累計台数は、前年比15.3%増と2年ぶりの前年超え
- ・大型は同7.4%増、中型は31.5%増、小型・軽は同12.8%増

⑥ バン

- ・1月～6月の累計台数は、前年比35.0%増と2年ぶりの前年超え
- ・バン(除く冷凍・保冷車)は同36.7%増、冷凍・保冷車は同32.0%増

⑦ トレーラ

- ・1月～6月の累計台数は、前年比2.7%減と4年連続の前年割れ
- ・バンが同6.0%増、その他が1.2%増、平床が同10.4%減、コンテナが同7.6%減

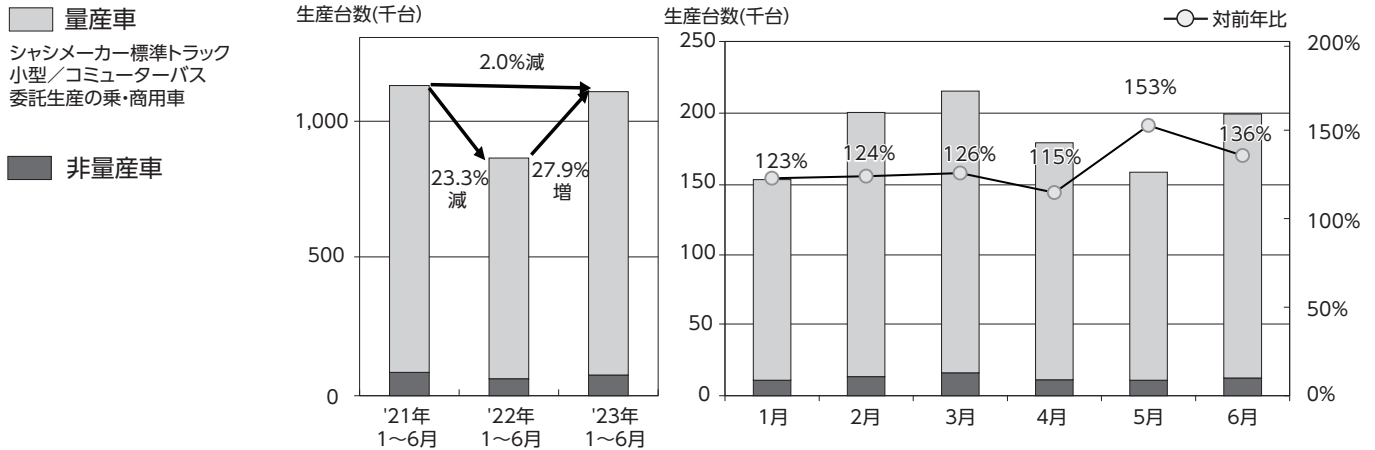
⑧ 大中型バス

- ・1月～6月の累計台数は、前年比48.1%増と2年ぶりの前年超え
- ・路線は同54.1%増、観光は同135%増、自家用は同6.5%増

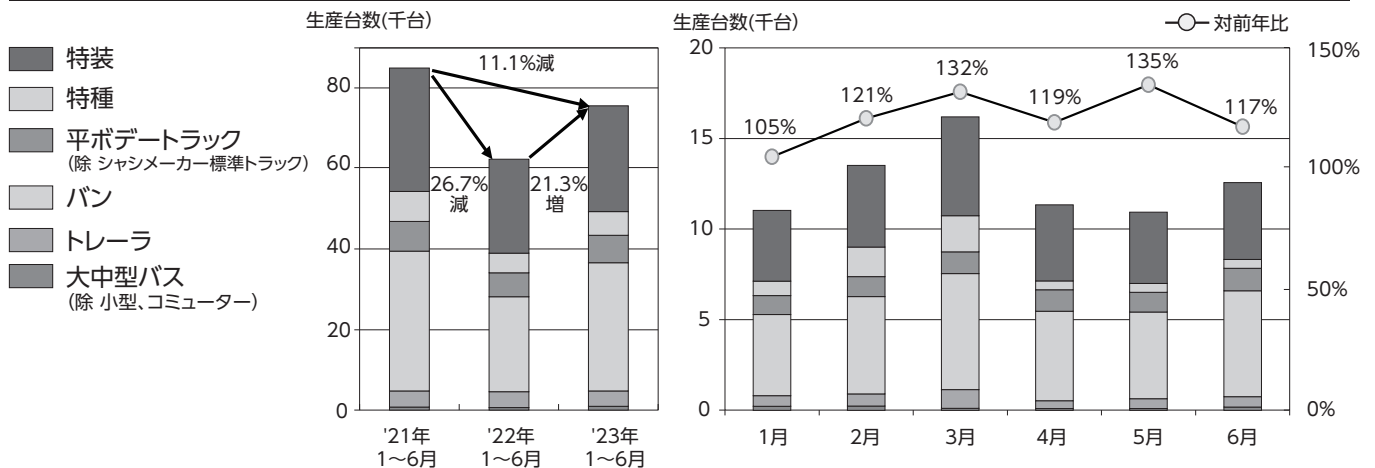
⑨ 乗用・小型商用・軽

- ・1月～6月の累計台数は、前年比28.5%増と2年ぶりの前年超え
- ・国内向けは同48.5%増、輸出向けは同13.1%増

合計 (非量産車+量産車)

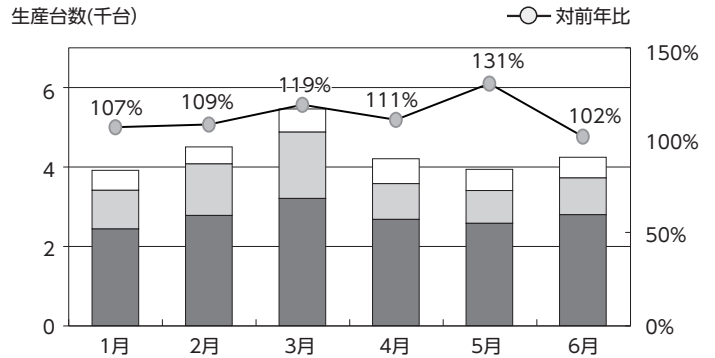
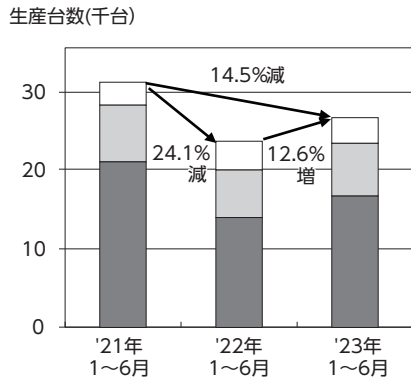


非量産車合計



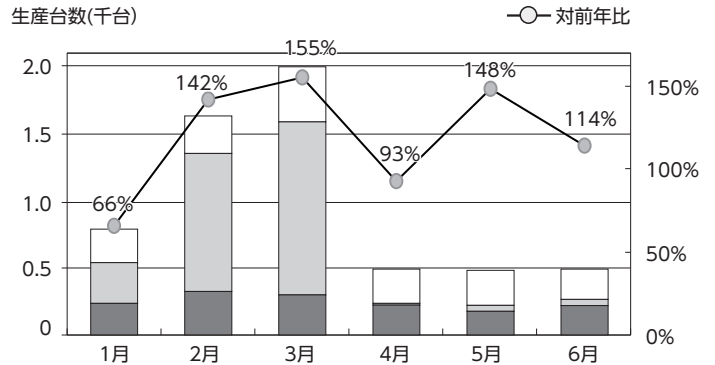
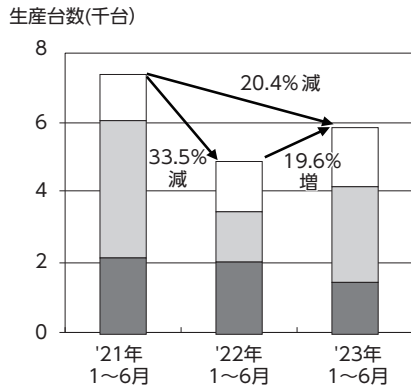
特装車

- 輸出
- 作業系・その他
- 輸送系



特種車

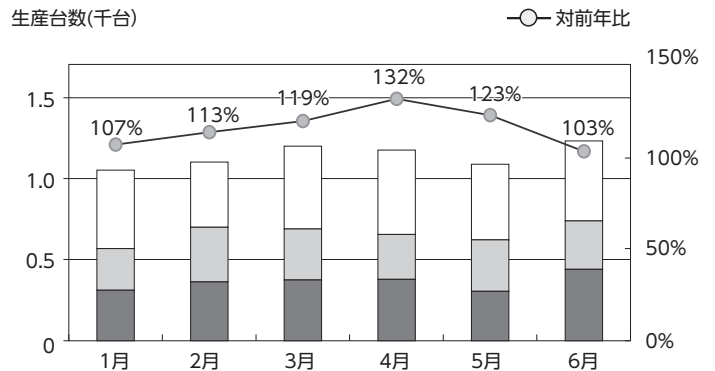
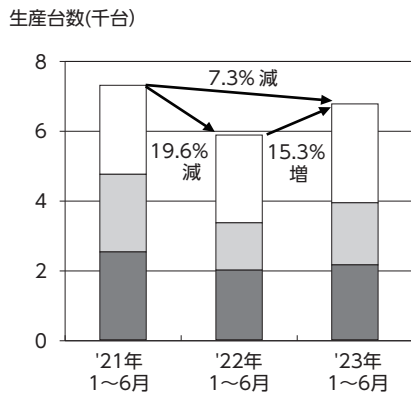
- その他
- 緊急用
- 車いす移動車



平ボデートラック (除 シャシメーカー標準トラック)

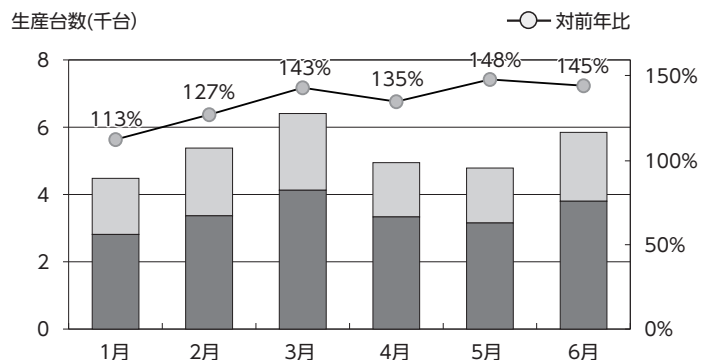
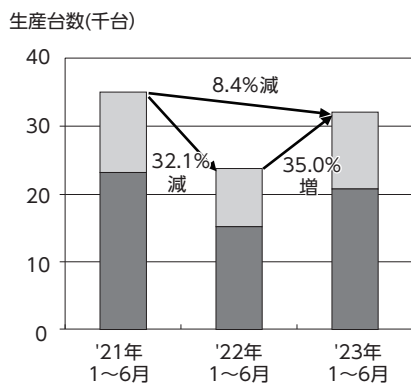
平ボデートラック
(除 シャシメーカー
標準トラック)

- 小型・軽
- 中型
- 大型



バン

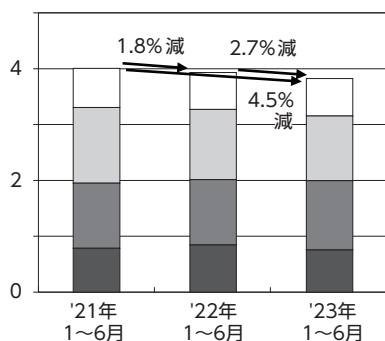
- 冷凍・保冷車
- バン (除 冷凍・保冷車)



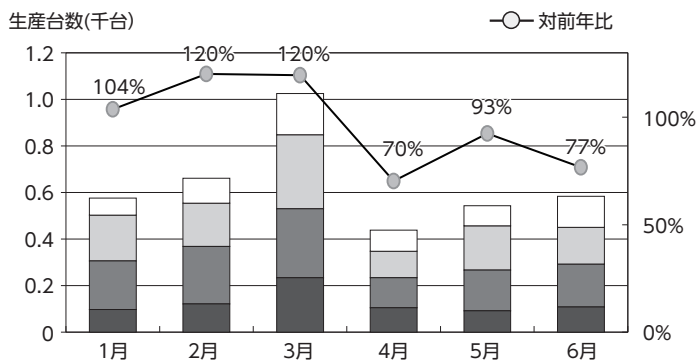
トレーラ

- その他特装系
- コンテナ
- バン
- 平床

生産台数(千台)



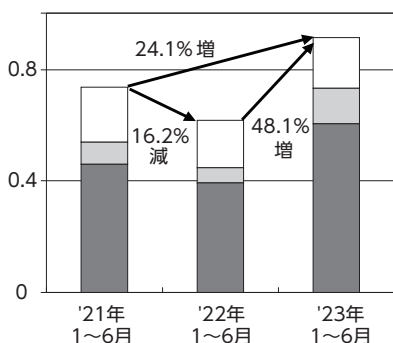
生産台数(千台)



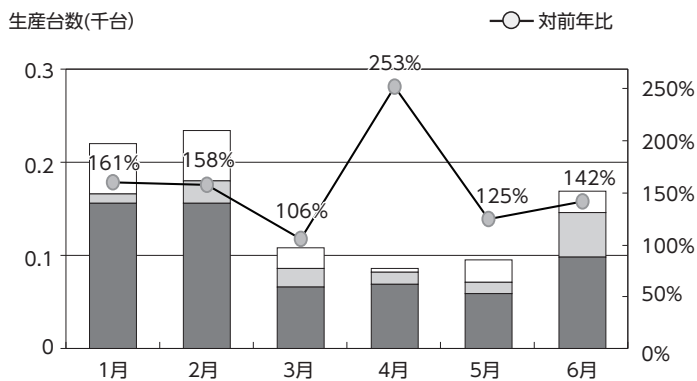
大中型バス

- 自家用
- 観光
- 路線

生産台数(千台)



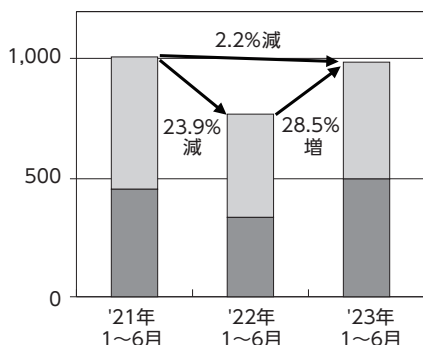
生産台数(千台)



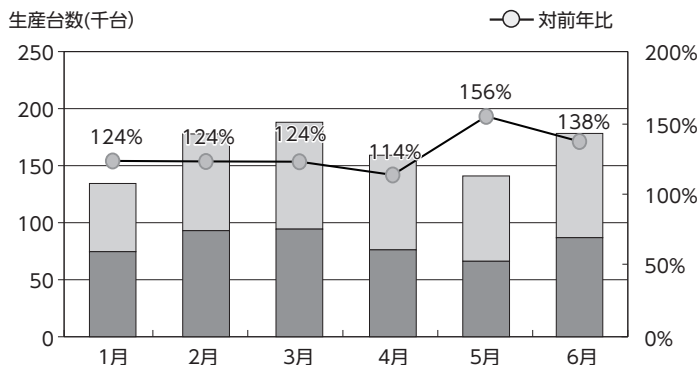
乗用・小型商用・軽

- 輸出
- 国内

生産台数(千台)



生産台数(千台)



車体工業会会員生産台数の公表について

昨今の急激な景気変動に伴う業界全体の状況をいち早く社会全体へ公表するために、生産台数データを当会ホームページに公開しておりますので、下記サイトをご覧ください。

<https://www.jabia.or.jp/data/index.php>



事業者、ドライバー、
整備工場の皆さんの
協力をお願いします。

「お・ち・な・い」 の徹底で 防ごう、 大型車の 車輪脱落 事故



.....“ち” タイヤ交換時のチェック

錆・汚れの除去や給脂忘れが、
車輪脱落を引き起こしています。

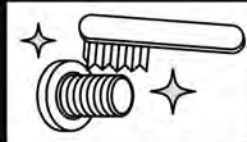


ホイールナットに生じた錆や付着したゴミ等により、ワッシャーの摺動部が固着している。



ホイールナットとワッシャーに変形が見られ、ワッシャーがはずれかかっている。

こんな時は、ナットを交換！



ディスクホイール取付面、ホイールナット当たり面、ハブの取付面、ホイールボルト、ナットの錆やゴミ、追加塗装などを取り除きます。



給脂
ホイールボルト、ナットのねじ部と、ナットとワッシャーのすき間にエンジンオイルなど指定の潤滑油を薄く塗布し、回転させて油をなじませてください。



ット締め、トルクレンチを必ず使用！

適正なトルクレンチによる規定トルクの締め付け、タイヤ交換後の増し締めの実施。

正しい点検方法や
連結式ナット回転指示
インジケーターの使用方法を

動画でチェック！



お

とさない！
脱落防止は
まず点検。

事前の正しい点検が大きな事故を未然に防ぐ唯一かつ最善の手段です。

ち

ちゃんと清掃、
ちゃんと給脂！

ボルト、ナットの錆や汚れを落とし、エンジンオイルなどを塗布。スムーズに回転するかなど入念に点検。

な

ット締め、
トルクレンチを
必ず使用！

適正なトルクレンチによる規定トルクの締め付け、タイヤ交換後の増し締めの実施。

い

ちにち一回、
緩みの点検！

運行前に特に脱落が多い左後輪を中心に、ボルト、ナットを目視、直接触って点検します。



詳しい情報は日本自動車工業会ホームページへ
http://www.jama.or.jp/truck-bus/wheel_fall_off/

国土交通省 自動車点検整備推進協議会 大型車の車輪脱落事故防止対策に係る調査・分析検討会 日本自動車工業会(いすゞ自動車 日野自動車 三菱ふそうトラック・バス UDトラック) 全日本トラック協会 日本バス協会 全国自家用自動車協会 日本自動車整備振興会連合会 日本自動車販売協会連合会 全国タイヤ商工協同組合連合会 日本自動車タイヤ協会 全国石油販売組合連合会 日本自動車車体工業会 日本自動車輸入組合 日本自動車機工具協会 日本自動車機器具工業会 自動車用品小売業協会 日本自動車車体整備協同組合連合会



水没したトレーラを取り扱いについて

集中豪雨などで水没したトレーラは、ホイールベアリングの錆び付きやブレーキの引きずり等により、脱輪や火災に至る恐れがありますので、以下の「水没トレーラ点検箇所一覧表」をご参照し、必ず点検・整備を行ってください。



水没イメージ

水没した部品の事例



アクスルナット



ホイールベアリング



スピンドル



ハブ内部



ブレーキチャンバ

水没トレーラ点検箇所一覧表 (一般的な形状のトレーラ)

点検箇所		点検内容			
		車軸まで浸水	荷台まで水没		
制動装置	サービスブレーキ	エアカプラ(黄&赤)	-	分解、清掃、給油	
		リレーエマージェンシーバルブ			
		エアタンク			
		ブレーキチャンバ			
		配管			
	駐車ブレーキ	駐車ブレーキ操作バルブ	-	交換	
		スプリングブレーキチャンバ	交換		
		配管	分解、清掃		
	ABS装置	モジュレータ	-	交換	
		車輪速センサ			
配線					
機構部分	配管	分解、清掃	分解、清掃		
	オートスラックアジャスタ	分解、清掃、給油	分解、清掃、給油		
	Sカム及びシャフト				
	ブレーキシュー&ライニング				
ブレーキドラム					
走行装置	アクスル	スピンドル	分解、清掃、給油	分解、清掃、給油	
	ハブ	ベアリング	交換、給油	交換、給油	
		ハブオイルシール	交換	交換	
緩衝装置	パネサス	スプリング	-	分解、清掃	
		ロッカーアーム及びピン	清掃	分解、清掃、給油	
		トルクロッド	清掃	分解、清掃	
	エアサス	ベローズ	清掃	-	交換
		各バルブ			
		ハイトコントロールレバー			
		配管			
	リフトアクスル	ショックアブソーバ	清掃	交換	
		エアチャンバ またはベローズ	エアチャンバ またはベローズ	分解、清掃、給油 (チャンバ)、 清掃(ベローズ)	分解、清掃、給油 (チャンバ)、 交換(ベローズ)
			配管	分解、清掃(チャンバ)、 (ベローズ)	分解、清掃
電気装置	灯火器	7極ソケット	-	交換	
		車幅灯			
		方向指示器			
		側方灯			
		リヤコンビネーションランプ			
		後退灯			
		番号灯			
配線					
その他	連結装置	キングピン	-	清掃、給油	
	補助脚	本体	清掃	分解、清掃、給油	
	車枠及び車体	フレーム	-	清掃	
	架装物	架装物	仕様による	仕様による	

架装物の安全点検制度

架装物の定期点検で『SDGs』に貢献



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



環境にやさしい未来をつくる働く車
未来の子ども達に美しい地球を
のこすため「豊かな環境保全」には
定期点検整備が必要です。

定期点検整備を実施した事を証明する
『架装物年次点検【済】』ステッカーです。

点検に行こう

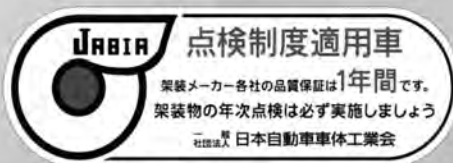


点検OK



安全・安心・信頼の証 ステッカー!!

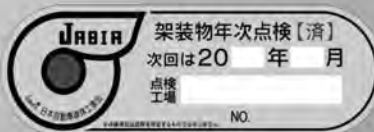
※ 新車時 『点検制度適用車』ステッカー



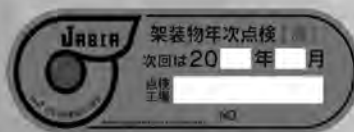
品質保証付き

点検制度適用車

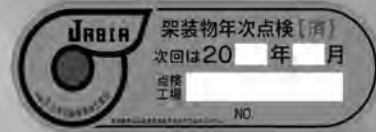
※ 点検時 『架装物年次点検【済】』ステッカー



2023年 (黄色)



2024年 (水色)



2025年 (黄緑色)



一般社団法人

日本自動車車体工業会 中央技術委員会 点検整備推進分科会
Japan Auto-Body Industries Association Inc.

<http://www.jabia.or.jp/>





編集後記

今年の夏は暑かった。毎日熱中症アラートが発令され、エアコンを適正に使用せよ、不要不急の外出を控えよと日々繰り返された。世界気象機関(WMO)等は、2023年6月と7月を観測史上最も暑い6月、7月だったと発表し、国連からは「地球温暖化の時代は終わり、地球沸騰の時代が来た。」「最悪の事態を食い止めるため、燃えるように暑い年を、燃えるような野心の年に変えなければいけない。」「7月の異常気象は気候変動の厳しい現実で、気候変動対策は贅沢ではなく必須」とのコメントが発表され、当会のカーボンニュートラル(CN)の活動が、改めて「待ったなし」と痛切に感じさせられた夏となった。

2023年度は当会のCNの取組みテーマとして、本部委員会、部会、及び支部への展開を掲げており、今号の支部だよりも掲載の通り、中部支部のCN勉強会・工場見学会を環境委員会の杉山分科会長の講義と岐阜車体工業(株)での現場取組み事例紹介を、26社75名の大盛況の中で実施した。中部支部の皆さんの今後のCN取組みの飛躍を期待したいところである。

各地の花火や盆踊り大会、歓声や土の持ち帰りも復活となった甲子園等々、コロナ禍後の日本は本当に素晴らしいと改めて感じさせてくれた夏だったと思う。

日本を、世界を、次代に引き継ぐことが我々の責務。微力でもできることから始めたい。
(板倉)

<訂正とお詫び>

2023夏号のNEWS特集 新任理事・監事紹介において誤記がありましたので、訂正してお詫び申し上げます。 西岡 偉久氏 誤)特種部会長 → 正)特種部会

表紙写真について

トラック部会

(株)花見台自動車製

「セフテローダグライドⅣ」

荷台傾斜角度がほぼフラットなリヤゲートレス超低スロープ仕様です。サイドアオリレス仕様により幅広い車両の搭載にも対応。

狭い路地などの右左折時において、取回しの良さで高い安全性を確保します。

固縛システム、超低スロープ、スライド時の省スペース化など先進のメカニズムを採用し上質で安全な輸送をご提供いたします。

空車走行時の従来のリヤゲートによる空気抵抗を大幅に低減させ、燃費の低減も期待されます。



お知らせ

10月講演会のご案内

- ◆日時：2023年10月19日(木) 14:30～16:00
- ◆場所：日本自動車会館1階
くるまプラザ会議室(未定)
- ◆テーマ：「国内商用車市場動向と
業界を取り巻く環境」
いすゞ自動車株式会社 様
- ◆参加費：無料
- ◆申込み：当会ホームページに掲載する用紙、又は会員へメール配信する用紙にてお申込みください。

秋季会員大会開催のご案内

- ◆日時：2023年10月27日(金) 11:30～13:00
- ◆場所：東京ベイ有明ワシントンホテル 3階「アイリス」
東京都江東区有明3-7-11
TEL：03-5564-0111
- ・ゆりかもめ「有明駅」から徒歩3分
- ・りんかい線「国際展示場駅」から徒歩3分
- ◆当日のスケジュール
- ・11:30 開会・会長挨拶
- ・11:45 懇親会(立食)
- ・13:00 閉会・自由解散後、
ジャパンモビリティショー2023見学

この会報「車体NEWS」は、主として法令改正等含めた自動車車体にかかわる情報をとりまとめ、春、夏、秋、冬の4回、季刊発行により関係方面の方々に毎回およそ1,700部を送付させていただいております。送付先は当工業会会員事業所他全国の大型車等の自動車販社、各都道府県のバス、トラック協会、バス、トラックの大手ユーザー、全国の経済産業局、運輸局、運輸支局、自動車技術総合機構、日本自動車車体整備協同組合連合会、軽自動車検査協会及び自動車関係団体となっております。

広告掲載会社

古河ユニック株式会社 ……表2
イサム塗料株式会社 ……P.16
スリーエム ジャパン株式会社 ……表3
損害保険ジャパン株式会社 ……表4

車体 NEWS
AUTUMN 2023 秋



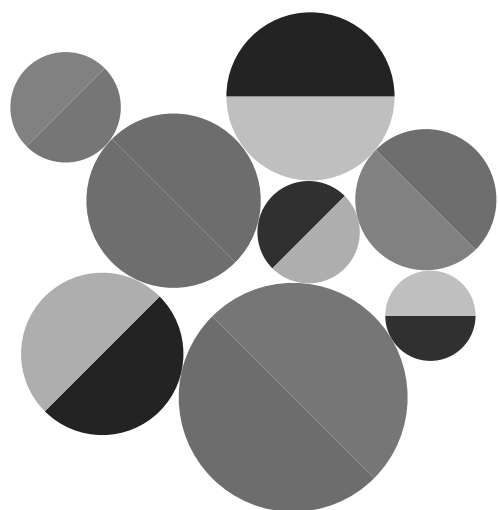
2023年9月15日発行

発行所 一般社団法人 日本自動車車体工業会

〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-30

TEL.03-3578-1681 FAX.03-3578-1684

発行人 板倉 範頭



Japan Mobility Show



ジャパンモビリティショー2023 車体工業会「働くくるま」合同展示

- 一般公開日 **10月28日(土)～11月5日(日)**
- 開催時間 合同展示 9:00～17:00
合同展示以外 9:00～19:00(月～土・祝)
9:00～18:00(日)

10社10台の展示

荷台の動きが見える車両展示

車体工業会ブースを設置

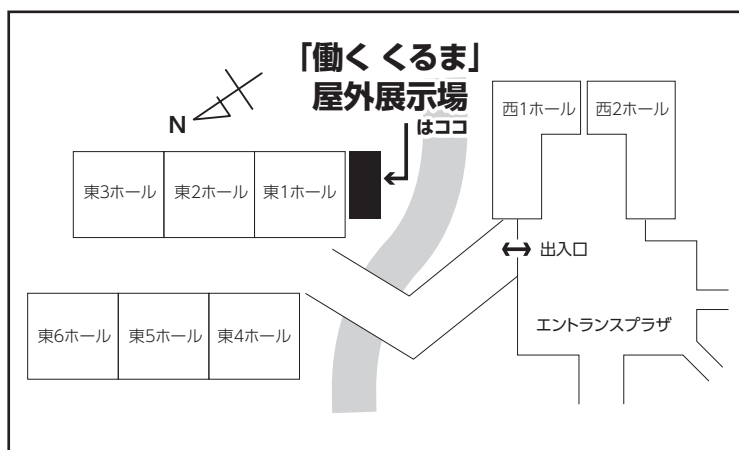
パネル展示、映像等で
当会及び会員会社のPR

QRコード付きカードを配布

当会及び出展車両紹介の
「働くくるま」合同展示Webサイト
へGO!

会場

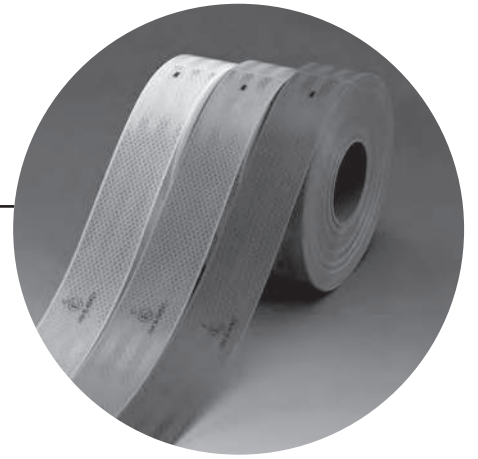
東京ビッグサイト 東展示場屋外



ご来場をお待ちしております!!

美しさと安全性の両立

Beauty & Safety スリーエムからの提案です。



3M™ダイヤモンドグレード™
コンスピクイティ反射シート

3M™反射シート680Eシリーズ

スコッチカル™ フィルム

コントロールタック™プラスフィルム

夜間や薄暮に多発するトラックなど大型車両の事故。車両の視認性低下が原因のひとつとなっています。夜間の事故防止には再帰反射材による車両マーキング(線状再帰反射材、輪郭再帰反射材、特徴等表示再帰反射材)が不可欠です。その効果は様々な研究報告により明らかになっています。

わが国では「道路運送車両の保安基準」でその取付要件が規定されました。すでに欧米では多くの国々で取付要件が規定されており、義務化された国もあります。スリーエムではこの基準に適合した(※Eマーク付)3M™ダイヤモンドグレード™コンスピクイティ反射シートと3M™反射シート680Eシリーズを提供しています。

また、スリーエムでは従来より車体のボデーをPR媒体として活用するフリートマーキングシステムの概念を提案し、スコッチカル™フィルム、コントロールタック™プラスフィルムおよびグラフィックスを提供してきました。トラック輸送の有効性、重要性が今後さらに見直される傾向にあります。

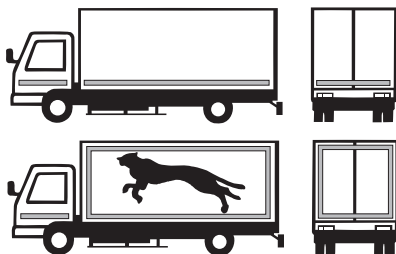
今こそ安全性とPR効果がキーワードの車両マーキングとフリートマーキングの採用を検討する時期です。

3M™ ダイヤモンドグレード™ コンスピクイティ反射シート

入射光を光源方向にまっすぐ戻す、再帰反射効果具备了プリズムレンズ型反射シートです。ヘッドライトの光などで明るく輝き、自車の存在を相手に強くアピールします。

■おもな特徴

1. 従来品に比べ、反射効果が大幅にアップしています。
2. 広角性にすぐれ、カーブ時の見やすさも十分に確保できます。
3. 取り扱いが簡単です。裏面の透明フィルムをはがすだけで、多くの車体に直接貼ることができます。
4. 耐久期間は約7年です。(当社ガイドライン通りに貼付された場合)。



※Eマークとは:国連の車両等の相互承認協定規則(CE)R104の要件に適合した製品に付記することができるマーク。このマーク入りの製品は「道路運送車両の保安基準の細目を定める告示、別添105」に定める技術基準に適合している製品でもあります。

事故減少に対するコンスピクイティ反射シートの有効性に関わる研究報告

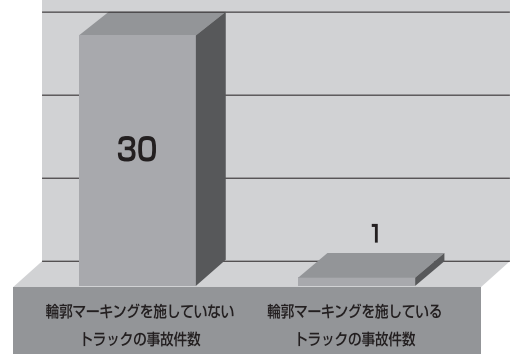
■ヨーロッパにおける研究報告

- 夜間や薄暮におけるトラックの側面・後面への衝突事故の約40%が“みられやすさ”(コンスピクイティ)不足により発生している。
- 再帰反射材の輪郭マーキングを施したトラックの事故件数は、施していないトラックの事故件数の約1/30だった。

■米国における研究報告

- 再帰反射材による車両マーキングは重量トレーラーの側面・後面への衝突事故を約30%減少させた。特に夜間では約40%減少させた。

■事故件数対比



スリーエム ジャパン株式会社 トランスポーターション セーフティ事業部

本社 〒141-8684 東京都品川区北品川6丁目7番29号
電話 03-6409-3388
URL <https://www.mmm.co.jp>



NEW!

新しい特約を
ご用意しました

生産物賠償責任保険

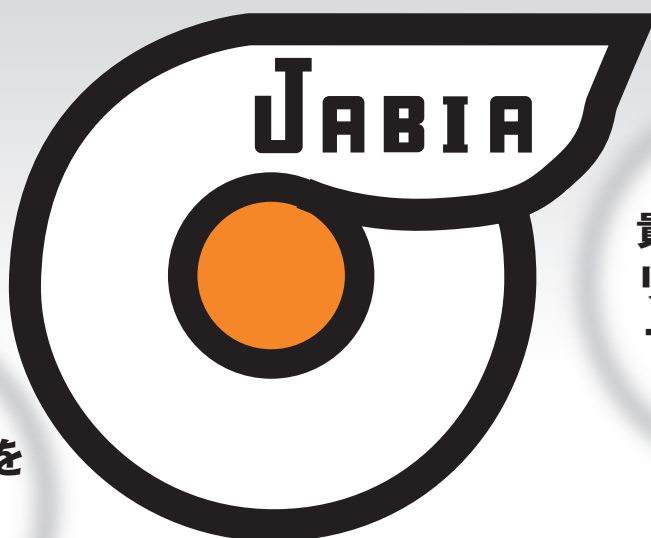
生産物回収費用補償特約

日本自動車車体工業会 団体PL保険制度

自動車メーカーだけではなく、車体メーカー、部品メーカーも責任を問われる時代です。

随時加入申込受付中

車体工業会会員の
皆さまのための
専用の保険制度



貴社のPL対策・
リコール対策を
サポートします

スケールメリットを
生かした割安な
保険料

制度の趣旨

- (一社)日本自動車車体工業会の会員の皆さまのためのPL保険制度です。
- PL保険制度はPL事故および架装等が原因で生じた賠償事故の損害に対応します。
車体工業会のスケールメリットを活かした制度で多くの会員の皆さまにご利用いただいております。
- 今年度新設したリコール・オプション(生産物回収費用補償特約)もぜひご検討ください。
- この広告は概要を説明したものです。詳しい内容については、取扱代理店または損保ジャパン営業店までお問い合わせください。

お気軽にご相談ください

取扱代理店:

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町1-4-1 内山ビル2F 株式会社ワイズマン 東京支店

TEL. 03-5623-6455 FAX. 03-5623-6488

ご相談用メールアドレス:jabiahoken@wiseman.gr.jp

引受保険会社:

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1 損害保険ジャパン株式会社 営業開発部第一課

TEL. 03-3349-3322 FAX. 03-6388-0155



SOMPO

損害保険ジャパン株式会社